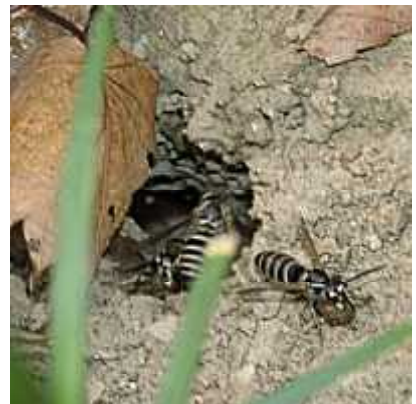
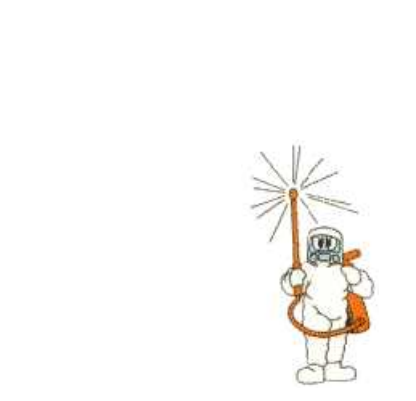


# 名古屋のスズメバチ

25年間の調査結果から

(1983 - 2007)



山内 博美

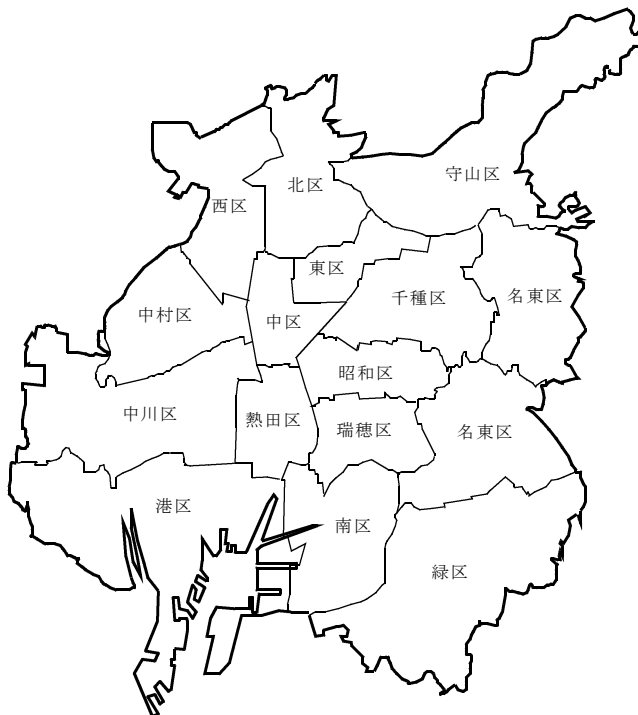
駆除データの取り扱いは、おおむね以下の基準に基づいている。

駆除データの取り扱い基準

	相談件数 <sup>(1)</sup>	調査件数 <sup>(2)</sup>	月報上の 駆除件数 <sup>(3)</sup>	駆除件数 <sup>(4)</sup>
電話や来所による相談	●	×	×	×
スズメバチの巣の駆除	●	●	●	●
樹液等に飛来したハチの駆除	●	●	●	×
現場で巣を確認、指導のみで駆除せず	●	●	×	○ <sup>(5)</sup>
除去できなかった同一巣に対する再駆除	●	●	●	×
駆除後に再度営巣した巣の駆除	●	●	●	●
営巣は確認できたが既に巣は除去済	●	●	×	○ <sup>(5)</sup>
現地調査で巣が全く確認できない	●	●	×	×
廃巣・前年の巣	●	●	●	●

- (1) 生活衛生センターが相談を受け付けた件数(保健所経由および直接分の合計で、市外分も含む)  
(2) 生活衛生センターが現地調査を実施した件数  
(3) 生活衛生センターが駆除を実施した件数(営巣の有無は問わない)  
(4) 生活衛生センターが現地調査で営巣を確認した件数(指導のみの場合も含む)  
(5) 年度により一部駆除件数に含まれないケースが存在する。

名古屋市の16区の位置と面積



区名	面積
千種	18.24
東	7.72
北	17.56
西	17.90
中村	16.32
中	9.36
昭和	10.93
瑞穂	11.23
熱田	8.16
中川	32.01
港	45.67
南	18.47
守山	33.99
緑	37.85
名東	19.42
天白	21.62
計	326.45

## － 1 名古屋市のスズメバチ駆除対策 －

表1. 1	スズメバチ駆除対策の変遷 -----	1
表1. 2	スズメバチ駆除体制の変遷 -----	1

## － 2 種別・年別の発生状況 －

表2. 1	名古屋市におけるハチ類に対する駆除・相談件数の推移 -----	2
表2. 2	スズメバチ類の年別駆除件数 -----	2
表2. 3	スズメバチ類 7 種の区別・年別駆除件数 -----	3
表2. 4	コガタスズメバチの区別・年別駆除件数 -----	3
表2. 5	キイロスズメバチの区別・年別駆除件数 -----	4
表2. 6	ヒメスズメバチの区別・年別駆除件数 -----	5
表2. 7	モンスズメバチの区別・年別駆除件数 -----	6
表2. 8	オオスズメバチの区別・年別駆除件数 -----	5
表2. 9	チャイロスズメバチの区別・年別駆除件数 -----	6
表2. 10	クロスズメバチの区別・年別駆除件数 -----	6
図2. 1	名古屋市におけるハチ類に対する駆除・相談件数の推移 -----	7
図2. 2	スズメバチ類の駆除件数の推移 -----	7
図2. 3	コガタスズメバチを除く 4 種の駆除件数の推移 -----	7
図2. 4	22 年間に駆除したスズメバチの種構成 -----	8
図2. 5	スズメバチ類の駆除件数の種別構成比 -----	8
図2. 6	コガタスズメバチの駆除件数と占有率の推移 -----	8

## － 3 区別の発生状況 －

表3. 1	スズメバチ類 7 種の延駆除件数(区別) -----	9
表3. 2	コガタスズメバチの最多駆除件数と営巣密度 -----	9
表3. 3	スズメバチ類の駆除件数(千種区) -----	10
表3. 4	スズメバチ類の駆除件数(東区) -----	10
表3. 5	スズメバチ類の駆除件数(北区) -----	11
表3. 6	スズメバチ類の駆除件数(西区) -----	11
表3. 7	スズメバチ類の駆除件数(中村区) -----	12
表3. 8	スズメバチ類の駆除件数(中区) -----	12
表3. 9	スズメバチ類の駆除件数(昭和区) -----	13
表3. 10	スズメバチ類の駆除件数(瑞穂区) -----	13
表3. 11	スズメバチ類の駆除件数(熱田区) -----	14
表3. 12	スズメバチ類の駆除件数(中川区) -----	14
表3. 13	スズメバチ類の駆除件数(港区) -----	15

表3.14	スズメバチ類の駆除件数（南区）	15
表3.15	スズメバチ類の駆除件数（守山区）	16
表3.16	スズメバチ類の駆除件数（緑区）	16
表3.17	スズメバチ類の駆除件数（名東区）	17
表3.18	スズメバチ類の駆除件数（天白区）	17
図3.1	スズメバチ類の駆除件数の区別構成比	18
図3.2	コガタスズメバチ区別構成比	18
図3.3	キイロスズメバチ区別構成比	18
図3.4	ヒメスズメバチ区別構成比	19
図3.5	モンスズメバチ区別構成比	19
図3.6	オオスズメバチ区別構成比	19

#### － 4 月別の発生状況 －

表4.1	スズメバチ類7種の月別駆除件数	20
表4.2	スズメバチ類7種の年別・月別駆除件数	20
表4.3	コガタスズメバチの年別・月別駆除件数	21
表4.4	キイロスズメバチの年別・月別駆除件数	21
表4.5	ヒメスズメバチの年別・月別駆除件数	22
表4.6	モンスズメバチの年別・月別駆除件数	22
表4.7	オオスズメバチの年別・月別駆除件数	23
表4.8	チャイロスズメバチの年別・月別駆除件数	23
表4.9	クロスズメバチの年別・月別駆除件数	24
図4.1	コガタスズメバチの月別の駆除件数	25
図4.2	最近6年間のコガタスズメバチの月別の駆除件数	25
図4.3	コガタスズメバチを除くスズメバチ類4種の月別の駆除件数	25

#### － 5 スズメバチ類の営巣場所 －

表5.1	スズメバチ類7種の営巣場所	26
表5.2	スズメバチ類5種の営巣場所の高さ	26
表5.3	コガタスズメバチの営巣場所	27
表5.4	コガタスズメバチが営巣した主な樹木の種類	27
表5.5	キイロスズメバチの営巣場所	28
表5.10	クロスズメバチの営巣場所	28
表5.6	ヒメスズメバチの営巣場所	29
表5.8	オオスズメバチの営巣場所	29
表5.7	モンスズメバチの営巣場所	30
表5.9	チャイロスズメバチの営巣場所	30
図5.1	スズメバチ5種の営巣場所	31
図5.2	スズメバチ類7種の営巣場所の平均高さ	31
図5.3	コガタスズメバチを除くスズメバチ類4種の営巣場所の高さ	31

図5. 4	コガタスズメバチの営巣場所の高さ	32
図5. 5	コガタスズメバチの営巣場所の年別割合	32
図5. 6	コガタスズメバチの営巣場所の月別割合	32

## － 6 スズメバチ類のコロニーの発達 －

表6. 1	育房数からみたスズメバチ類7種の最大巣の記録	33
表6. 2	育房数からみたコガタスズメバチの最大巣の記録	33
表6. 3	スズメバチ類5種の駆除開始日と終了日	33
表6. 4	コガタスズメバチの駆除実施期間	34
表6. 5	コガタスズメバチのコロニー発達状況	34
表6. 6	コガタスズメバチの巣盤数の発達	35
表6. 7	コガタスズメバチのコロニーの発達	35
表6. 8	コガタスズメバチの育房数の発達	35
表6. 9	コガタスズメバチのコロニーの発達(育房数)	36
表6.10	コガタスズメバチのコロニーの発達(成虫数)	37
表6.11	コガタスズメバチのカスト別平均成虫数	38
図6. 1	コガタスズメバチの平均育房数の月別変化	39
図6. 2	コガタスズメバチの平均成虫数の月別変化	39
図6. 3	コガタスズメバチ1巣当たりの平均成虫数の変化	39
図6. 4	コガタスズメバチの育房数の発達	40
図6. 5	コガタスズメバチの巣盤数の発達	40

## － 7 刺傷被害の発生状況 －

表7. 1	刺傷被害の発生状況	41
表7. 2	スズメバチ類による刺傷被害の発生状況	41
表7. 3	スズメバチ類6種による刺傷被害の月別発生状況	42
表7. 4	刺傷被害の原因別発生件数	42
表7. 5	営巣の高さと刺傷被害の発生状況	42
表7. 6	コガタスズメバチによる刺傷被害の発生状況	43
表7.6.2	コガタスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況	43
表7. 7	キイロスズメバチによる刺傷被害の発生状況	44
表7.7.2	キイロスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況	44
表7. 8	ヒメスズメバチによる刺傷被害の発生状況	45
表7.8.2	ヒメスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況	45
表7. 9	モンスズメバチによる刺傷被害の発生状況	46
表7.9.2	モンスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況	46
表7.10	オオスズメバチによる刺傷被害の発生状況	47
表7.10.2	オオスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況	47
表7.11	クロスズメバチによる刺傷被害の発生状況	48
表7.11.2	クロスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況	48

図7. 1	スズメバチ類による刺傷被害の発生状況	49
図7. 2	刺傷被害の月別発生件数	49
図7. 3	スズメバチ類5種の刺傷被害の発生率	49
図7. 4	コガタスズメバチによる月別の刺傷被害発生状況	50
図7. 5	コガタスズメバチによる刺傷被害の発生原因	50
図7. 6	コガタスズメバチの駆除件数と刺傷被害の発生件数の関係	50

## － 8 ま と め －

1	名古屋市の概況とスズメバチ駆除対策の変遷	51
(1)	名古屋市の概況	51
(2)	名古屋市のスズメバチ事情	51
(3)	名古屋市のスズメバチ対策	51
(4)	駆除の方法	51
(5)	調査活動	52
2	種別・年別の発生状況	52
(1)	種別の発生状況	52
(2)	年別の発生状況	52
3	区別の発生状況	53
4	月別の発生状況	54
5	スズメバチ類の営巣場所	54
(1)	コガタスズメバチ営巣場所	54
(2)	キイロスズメバチの営巣場所	55
(3)	ヒメスズメバチの営巣場所	55
(4)	モンスズメバチの営巣場所	55
(5)	オオスズメバチの営巣場所	55
6	スズメバチ類のコロニーの発達	55
(1)	スズメバチの生活史	55
(2)	スズメバチのコロニーの発達	55
(3)	コガタスズメバチの一年	56
7	刺傷被害の発生状況	56
(1)	種による攻撃性の違い	56
(2)	刺傷被害の発生時期とその原因	56
8	名古屋市のスズメバチに関する研究発表	57
(1)	学会発表等	57
(2)	印刷物	59

## 1 名古屋市のスズメバチ駆除対策

名古屋市では1983年7月から2005年まで、22年間に亘り生活衛生センターが無料で駆除を実施してきたが、2006年からは生活衛生センターによる駆除業務が原則廃止され、駆除の対象は公共的な場所のみとなったが、公共的な場所の駆除も2007年度をもって廃止となった。

1983年～2007年までの25年間に得られたデータは約13,000件にもおよび、都市のスズメバチの生態を知る上での貴重な資料となっている。

表1.1 スズメバチ駆除対策の変遷

区 分		～2005 平成17年	2006 平成18年	2007 平成19年	2008 平成20年	2009～ 平成21年
公共的場所 (多人数に影響を 及ぼす場所)	学 校 幼・保育園 公 園 公共施設 など	直 営 (無料)	直 営 (無料)		民間委託 (有料)	
一般住宅等 (民有地)	民間住宅 事務所 店舗等		民間委託 (有料)			
			補助金 半額補助(上限1万円)  全額 自己負担			

表1.2 スズメバチ駆除体制の変遷

	1983～ 1990	1991～ 1998	1999～2005	2006～2007
受付	市内16保健所	市内16保健所と生活衛生センター		
駆除	生活衛生センターが無料で駆除			原則有料化 ※
	3名 (技師1を含む)	3名 (原則技師なし)	2名 (原則技師なし)	

※ 学校・公園等の公共的な場所のみ、無料で駆除を実施



## 2 種別・年別の発生状況

表2.1 名古屋市におけるハチ類に対する  
駆除・相談件数の推移

年度	スズメバチ	アシナガバチ	ミツバチ
1986	168	335	6
1987	184	277	25
1988	284	407	37
1989	96	359	55
1990	285	593	91
1991	435	972	85
1992	250	750	108
1993	259	447	83
1994	600	1450	94
1995	789	1906	222
1996	713	1381	178
1997	891	2020	306
1998	988	2534	328
1999	602	2717	269
2000	766	2373	244
2001	985	2110	309
2002	851	2071	390
2003	925	2011	343
2004	1109	2444	366
2005	1116	2740	265
2006	763*	2603 **	260 **
2007	820*	1502 **	313 **

\* 生活衛生センターによる駆除件数，補助金交付件数の合計

\*\* 保健所および生活衛生センターの相談件数

表2.2 スズメバチ類の年別駆除件数

年度	コガタ	キイロ	ヒ	メ	モ	ン	オ	オ	チャイロ	ク	ロ	計
1983	40	3										43
1984	58	2	1									61
1985	79	3	2				1					85
1986	148	13	3	3	3	1						168
1987	173	3	4	4	4							184
1988	265	5	10	4								284
1989	90	5	1									96
1990	260	9	9	6	1							285
1991	390	15	24	4	1					1		435
1992	216	16	11	3	2		1		1			250
1993	225	16	11	5	2							259
1994	556	22	7	9	6							600
1995	755	8	5	17	4							789
1996	695	5	4	6	3							713
1997	823	9	32	19	6					2		891
1998	895	18	36	33	6							988
1999	511	10	52	20	9							602
2000	709	9	21	15	10	1		1				766
2001	934	5	17	16	12	1						985
2002	818		18	7	8							851
2003	843	9	27	31	15							925
2004	1059	4	17	18	11							1109
2005	986	15	30	54	29	1		1				1116
2006	194		2	5	10					1		212
2007	184	2	3	7	5							201
計	11906	206	347	286	142	4		7				12898

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上



表2.3 スズメバチ類7種の区別・年別駆除件数

年度	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
1983	12	3	2	1	2	1	3	4	1		1		1	3	5	4	43
1984	2	2			1	4	8	12	1	1		3	12	11	1	3	61
1985	13	4	3	3	1	1	6	13		1		3	3	7	18	9	85
1986	26	4	1			4	12	15				4	31	8	37	26	168
1987	16	8	7	1	2		14	11	2	7	3	8	25	21	42	17	184
1988	35	5	9	7	2	4	16	15		6	3	13	31	28	67	43	284
1989	23	2	1	3		1	8	6	1	1	1	2	13	13	10	11	96
1990	47		6	1	2	6	21	18	1	1		5	39	43	42	53	285
1991	62	4	12	12	3	4	25	33	2	2	1	12	78	54	79	52	435
1992	38	2	4	6	3	3	8	8	3	8	6	8	36	36	48	33	250
1993	33	9	2	2	5	5	18	13	3	2	2	9	32	39	54	31	259
1994	67	11	6	10	10	14	39	43	6	4	3	11	76	130	98	72	600
1995	123	14	12	17	7	9	49	51	5	8	8	20	104	121	143	98	789
1996	95	17	27	12	13	12	38	37	2	15	11	32	114	106	108	74	713
1997	100	34	39	25	24	12	42	48	12	27	24	44	103	145	121	91	891
1998	115	30	32	14	17	20	54	54	17	14	11	35	170	148	169	88	988
1999	113	10	11	4	7	6	41	33	7	8	2	10	92	96	93	69	602
2000	100	18	13	14	12	8	61	27	13	15	13	22	139	106	80	125	766
2001	133	32	41	27	19	18	61	56	24	29	16	27	152	159	89	102	985
2002	98	26	29	20	19	18	48	40	20	9	15	29	128	143	121	88	851
2003	117	35	24	19	14	9	51	49	10	6	17	35	153	153	113	120	925
2004	136	35	41	27	23	23	80	26	15	9	15	41	188	175	116	159	1109
2005	161	29	20	10	8	20	88	49	18	19	11	41	186	188	150	118	1116
2006	39	2	14	3	6	8	11	2	9	3	7	9	26	26	26	21	212
2007	33	6	10	4	4	7	11	6	9	6	2	9	24	34	17	19	201
計	1737	342	366	242	204	217	813	669	181	201	172	432	1956	1993	1847	1526	#####

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表2.4 コガタスズメバチの区別・年別の駆除件数

年度	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
1983	10	3	2	1	2		3	4	1		1		1	3	5	4	40
1984	2	2			1	4	8	12	1	1		3	10	10	1	3	58
1985	12	4	3	2	1	1	6	12		1		3	3	7	16	8	79
1986	26	4	1			4	10	15				4	20	7	33	24	148
1987	16	8	6	1	2		12	10	2	6	3	8	23	20	39	17	173
1988	34	5	9	7	2	4	16	15		6	2	13	26	26	64	36	265
1989	21	2	1	3		1	8	6	1	1	1	2	9	13	10	11	90
1990	45		6	1	2	6	19	18	1	1		5	31	42	37	46	260
1991	57	4	12	11	3	4	25	32	2	2	1	12	66	46	65	48	390
1992	31	2	4	6	3	3	7	7	3	8	6	8	26	32	41	29	216
1993	25	9	2	2	5	5	16	13	3	2	2	9	27	35	46	24	225
1994	61	11	6	9	9	14	37	42	6	4	3	11	62	123	90	68	556
1995	116	14	12	17	7	8	48	50	5	8	8	20	94	119	136	93	755
1996	93	17	27	12	13	12	37	36	2	15	11	32	108	105	104	71	695
1997	85	33	37	25	24	12	41	47	12	27	23	44	92	130	107	84	823
1998	108	29	32	13	16	16	53	54	17	13	11	33	140	128	155	77	895
1999	102	10	11	4	5	4	39	32	7	7	2	9	67	79	75	58	511
2000	94	18	12	14	11	8	60	25	13	15	13	18	125	98	72	113	709
2001	125	29	40	26	18	17	60	56	23	29	15	27	137	156	83	93	934
2002	95	26	29	20	18	18	46	40	20	8	14	29	122	132	116	85	818
2003	104	34	24	19	14	9	46	47	10	4	15	33	130	144	104	106	843
2004	126	35	41	27	23	22	77	25	15	9	14	41	177	167	108	152	1059
2005	131	29	19	9	7	20	83	46	18	18	11	40	146	170	133	106	986
2006	30	2	13	3	6	8	11	2	9	3	7	8	24	26	23	19	194
2007	26	6	10	3	4	7	9	6	9	6	2	8	22	32	15	19	184
計	1575	336	359	235	196	207	777	652	180	194	165	420	1688	1850	1678	1394	#####

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表2.5 キイロスズメバチの区別・年別駆除件数

年度	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
1983	2					1											3
1984													2				2
1985	1			1											1		3
1986							2						10		1		13
1987										1			1		1		3
1988	1												3			1	5
1989	2												3				5
1990	1												4		2	2	9
1991	3												8		3	1	15
1992	3												7	2	1	3	16
1993	5												4	1	2	4	16
1994	2				1								11	3	3	2	22
1995	3												4		1		8
1996													5				5
1997	1	1											1	1	5		9
1998										1			14	1	1	1	18
1999													9		1		10
2000													7	1		1	9
2001	1												4				5
2002																	
2003	1												8				9
2004													3		1		4
2005	2												12		1		15
2006																	
2007							2										2
計	28	1		1	1	1	4			2			120	9	24	15	206

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表2.6 ヒメスズメバチの区別・年別駆除件数

年度	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
1983																	
1984														1			1
1985								1							1		2
1986															2	1	3
1987			1				1	1						1			4
1988											1		2	2	1	4	10
1989													1				1
1990	1						2						1		1	4	9
1991	2			1				1					1	8	8	3	24
1992	2							1					1	1	5	1	11
1993	2						1							3	4	1	11
1994							1	1						3	2		7
1995													2	1	1	1	5
1996														1		3	4
1997	4		2								1		5	10	6	4	32
1998	2			1		1						2	9	15	3	3	36
1999	3				2	1	1	1		1		1	13	11	14	4	52
2000	1							2				2	4	5	3	4	21
2001		2	1	1	1		1		1		1		3		3	3	17
2002										1	1		2	8	4	2	18
2003	2						1			2	1	2	3	8	4	4	27
2004	1						1						5	6	2	2	17
2005	1			1	1		1	1		1			9	7	5	3	30
2006													1			1	2
2007				1								1		1			3
計	21	2	4	5	4	2	10	9	1	5	5	8	62	92	69	48	347

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表2.7 モンスズメバチの区別・年別駆除件数

年度	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
1983																	
1984																	
1985																	
1986													1		1	1	3
1987							1						1		2		4
1988															2	2	4
1989																	
1990													3	1	2		6
1991													3		1		4
1992	1												1		1		3
1993							1						1		1	2	5
1994	2			1									1		3	2	9
1995	3					1	1						3	1	4	4	17
1996	1						1						1		3		6
1997	4						1						4	4	3	3	19
1998	5					2	1						4	4	10	7	33
1999	4					1							3	4	2	6	20
2000	4		1										2	1	2	5	15
2001	6												5		1	4	16
2002	2				1								2	1	1		7
2003	7						1				1		8	1	4	9	31
2004	6						1				1		2	1	3	4	18
2005	16		1				2	1					15	6	6	7	54
2006	5																5
2007	5												2				7
計	71		2	1	1	4	10	1			2		62	24	52	56	286

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表2.8 オオスズメバチの区別・年別駆除件数

年度	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
1983																	
1984																	
1985																1	1
1986														1			1
1987																	
1988																	
1989																	
1990																1	1
1991															1		1
1992							1						1				2
1993	1														1		2
1994	2						1						2	1			6
1995	1							1					1		1		4
1996	1							1							1		3
1997	4							1					1				6
1998		1			1	1							3				6
1999	4						1							2	1	1	9
2000	1						1					2	1	1	2	2	10
2001	1	2				1							2	3	1	2	12
2002	1						2						2	2		1	8
2003	3	1					3	2					4		1	1	15
2004	3					1	1	1					1	1	2	1	11
2005	10						2	1				1	4	5	4	2	29
2006	3		1									1	1		3	1	10
2007	2													1	2		5
計	37	4	1		1	3	12	7				4	23	17	20	13	142

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表2.9 チャイロスズメバチの区別・年別駆除件数

年度	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
1983																	
1984																	
1985																	
1986																	
1987																	
1988																	
1989																	
1990																	
1991																	
1992	1																1
1993																	
1994																	
1995																	
1996																	
1997																	
1998																	
1999																	
2000															1		1
2001															1		1
2002																	
2003																	
2004																	
2005															1		1
2006																	
2007																	
計	1														3		4

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表2.10 クロスズメバチの区別・年別駆除件数

年度	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
1983																	
1984																	
1985																	
1986																	
1987																	
1988																	
1989																	
1990																	
1991																	
1992															1		1
1993														1			1
1994																	
1995																	
1996																	
1997	2																2
1998																	
1999																	
2000					1												1
2001																	
2002																	
2003																	
2004																	
2005	1																1
2006	1																1
2007																	
計	4				1									1	1		7

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

図2.1 名古屋市におけるハチ類に対する相談・駆除件数の推移

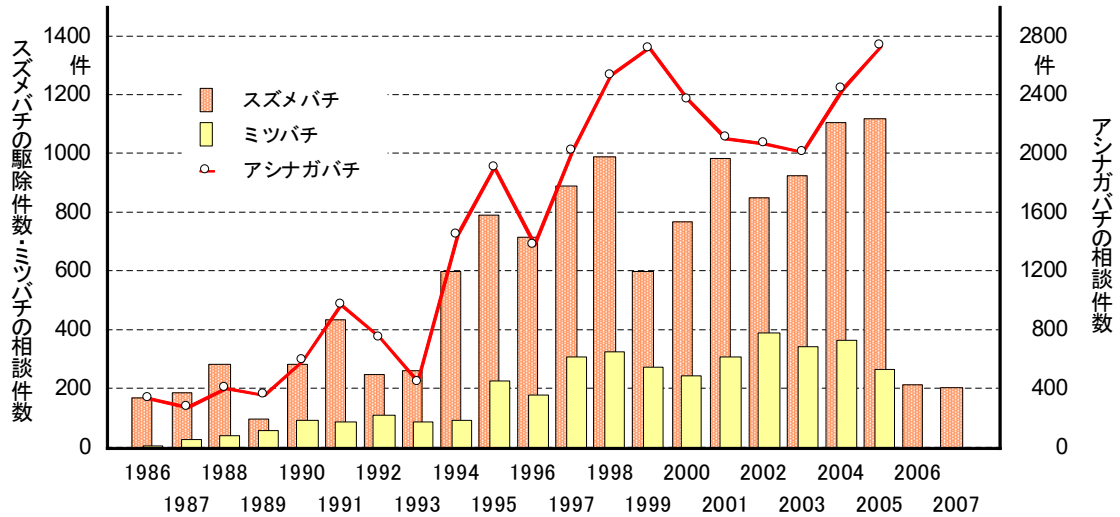


図2.2 スズメバチ類の駆除件数の推移

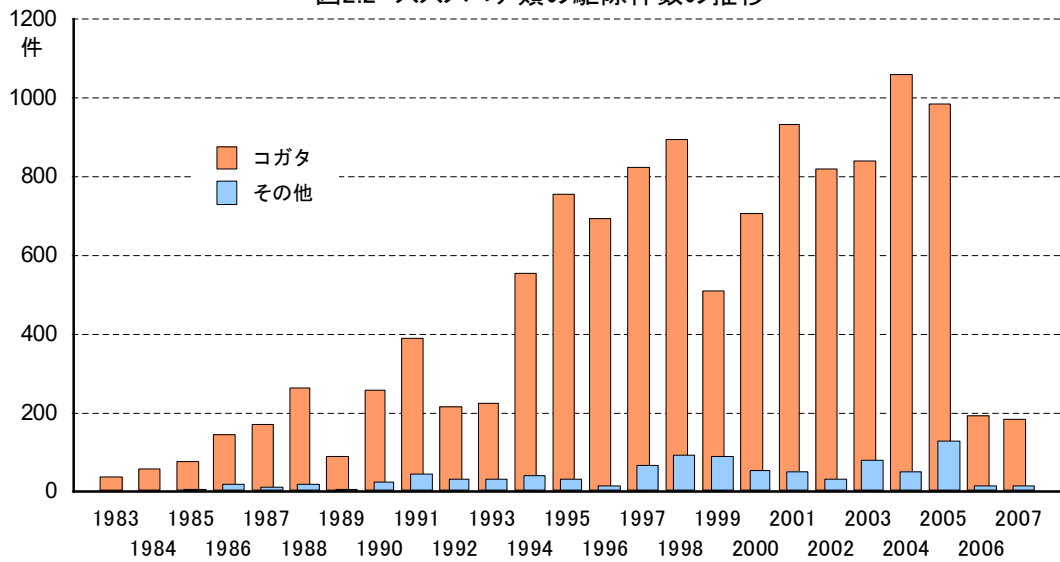


図2.3 コガタスズメバチを除く4種の駆除件数の推移

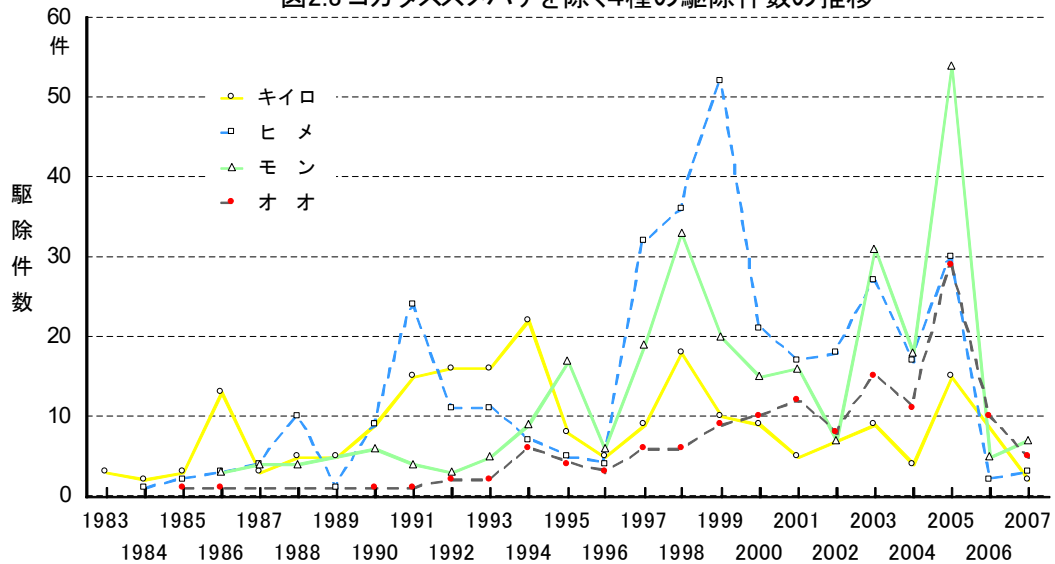


図2.4 25年間に駆除したスズメバチの種構成 1983-2007

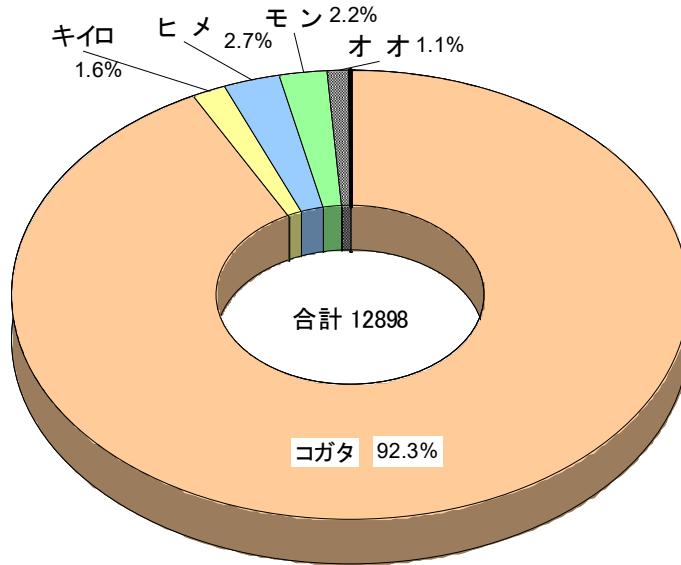


図2.5 スズメバチ類の駆除件数の種別構成比 2002-2007

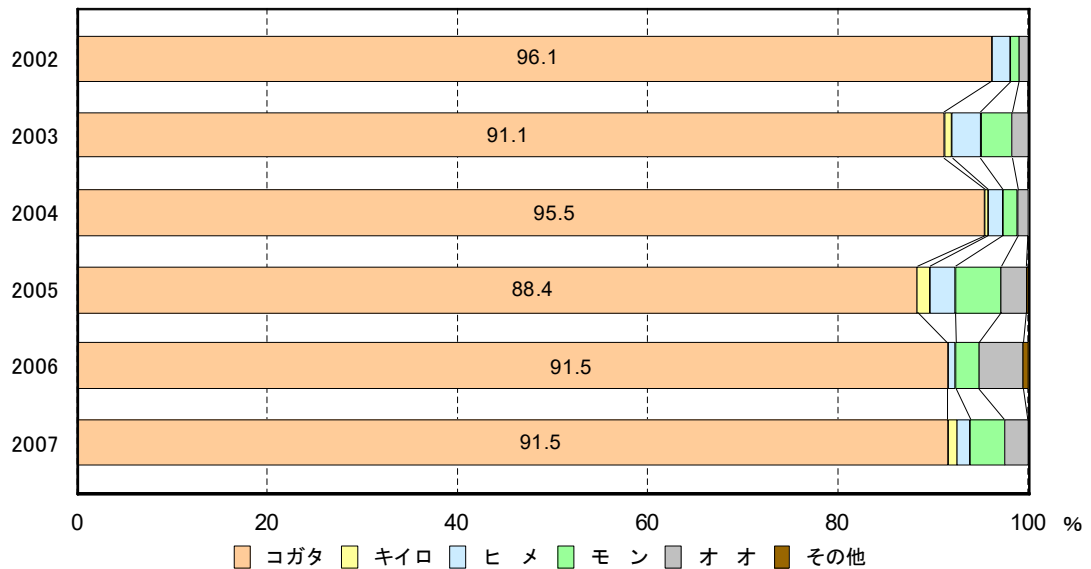
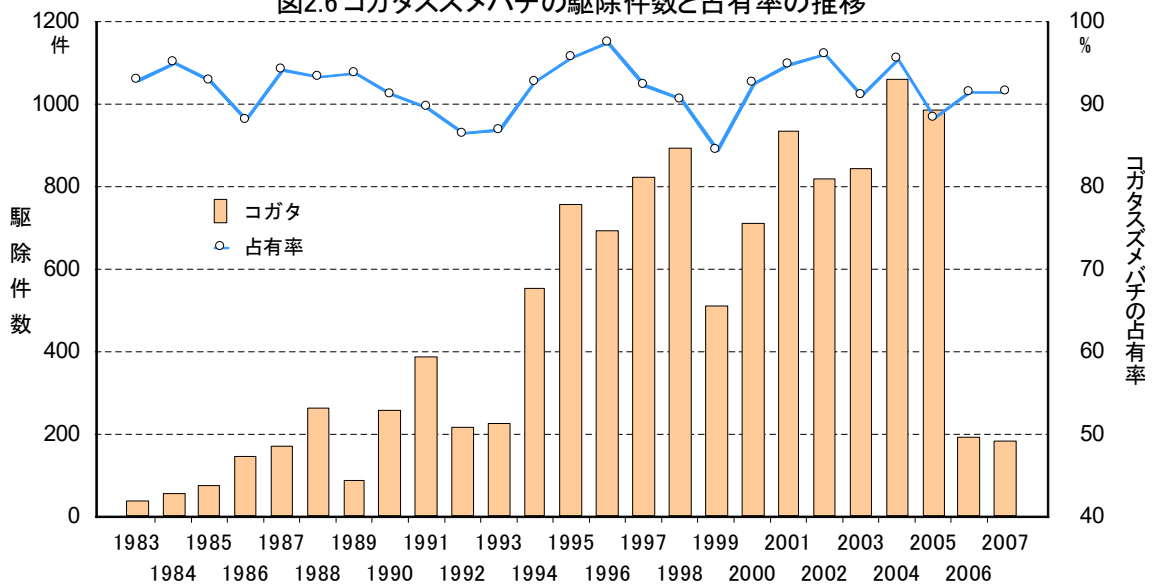


図2.6 コガタスズメバチの駆除件数と占有率の推移



### 3 区別の発生状況

表3.1 スズメバチ類7種の延駆除件数 1983－2007

	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計	コガタの 占有率
千種	1575	28	21	71	37	1	4	1737	90.7%
東	336	1	2		3			342	98.2%
北	359		4	2	1			366	98.1%
西	235	1	5	1				242	97.1%
中村	196	1	4	1	1		1	204	96.1%
中	207	1	2	4	3			217	95.4%
昭和	777	4	10	10	12			813	95.6%
瑞穂	652		9	1	7			669	97.5%
熱田	180		1					181	99.4%
中川	194	2	5					201	96.5%
港	165		5	2				172	95.9%
南	420		8		4			432	97.2%
守山	1688	120	62	62	24			1956	86.3%
緑	1850	9	92	24	17		1	1993	92.8%
名東	1678	24	69	52	20	3	1	1847	90.9%
天白	1394	15	48	56	13			1526	91.3%
計	11906	206	347	286	142	4	7	12898	92.3%
種構成比	92.3%	1.6%	2.7%	2.2%	1.1%	0.0%	0.1%	100%	100%

コガタの占有率:総駆除件数にコガタスズメバチが占める割合

※ 名東区では2000年に56個, 2001年に74個の巣が保健所職員により駆除されている。

表3.2 コガタスズメバチの  
最多駆除件数と営巣密度

区名	面積	最 多 駆除件数	年度	営巣密度
千種	18.24	131	(2005)	7.2
東	7.72	35	(2004)	4.5
北	17.56	41	(2004)	2.3
西	17.90	27	(2004)	1.5
中村	16.32	24	(1997)	1.5
中	9.36	24	(2004)	2.6
昭和	10.93	83	(2005)	7.6
瑞穂	11.23	56	(2001)	5.0
熱田	8.16	23	(2001)	2.8
中川	32.01	29	(2001)	0.9
港	45.67	23	(1997)	0.5
南	18.47	44	(1997)	2.4
守山	33.99	177	(2004)	5.2
緑	37.85	170	(2005)	4.5
名東	19.42	155	(1998)	8.0
天白	21.62	152	(2004)	7.0
計	326.45	1059	(2004)	3.2

営巣密度:面積1K<sub>2</sub>当たりの駆除件数



表3.3 スズメバチ類の区別駆除件数

千種区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983	10	2						12
1984	2							2
1985	12	1						13
1986	26							26
1987	16							16
1988	34	1						35
1989	21	2						23
1990	45	1	1					47
1991	57	3	2					62
1992	31	3	2	1		1		38
1993	25	5	2		1			33
1994	61	2		2	2			67
1995	116	3		3	1			123
1996	93			1	1			95
1997	85	1	4	4	4		2	100
1998	108		2	5				115
1999	102		3	4	4			113
2000	94		1	4	1			100
2001	125	1		6	1			133
2002	95			2	1			98
2003	104	1	2	7	3			117
2004	126		1	6	3			136
2005	131	2	1	16	10		1	161
2006	30			5	3		1	39
2007	26			5	2			33
計	1575	28	21	71	37	1	4	1737
種構成比	90.7%	1.6%	1.2%	4.1%	2.1%	0.1%	0.2%	100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3.4 スズメバチ類の区別駆除件数

東区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983	3							3
1984	2							2
1985	4							4
1986	4							4
1987	8							8
1988	5							5
1989	2							2
1990								
1991	4							4
1992	2							2
1993	9							9
1994	11							11
1995	14							14
1996	17							17
1997	33	1						34
1998	29				1			30
1999	10							10
2000	18							18
2001	29		2		1			32
2002	26							26
2003	34				1			35
2004	35							35
2005	29							29
2006	2							2
2007	6							6
計	336	1	2		3			342
種構成比	98.2%	0.3%	0.6%		0.9%			100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3.5 スズメバチ類の区別駆除件数

北区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャロ	クロ	計
1983	2							2
1984								
1985	3							3
1986	1							1
1987	6		1					7
1988	9							9
1989	1							1
1990	6							6
1991	12							12
1992	4							4
1993	2							2
1994	6							6
1995	12							12
1996	27							27
1997	37		2					39
1998	32							32
1999	11							11
2000	12			1				13
2001	40		1					41
2002	29							29
2003	24							24
2004	41							41
2005	19			1				20
2006	13				1			14
2007	10							10
計	359		4	2	1			366
種構成比	98.1%		1.1%	0.5%	0.3%			100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3.6 スズメバチ類の区別駆除件数

西区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャロ	クロ	計
1983	1							1
1984								
1985	2	1						3
1986								
1987	1							1
1988	7							7
1989	3							3
1990	1							1
1991	11		1					12
1992	6							6
1993	2							2
1994	9			1				10
1995	17							17
1996	12							12
1997	25							25
1998	13		1					14
1999	4							4
2000	14							14
2001	26		1					27
2002	20							20
2003	19							19
2004	27							27
2005	9		1					10
2006	3							3
2007	3		1					4
計	235	1	5	1				242
種構成比	97.1%	0.4%	2.1%	0.4%				100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3.7 スズメバチ類の区別駆除件数

中村区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983	2							2
1984	1							1
1985	1							1
1986								
1987	2							2
1988	2							2
1989								
1990	2							2
1991	3							3
1992	3							3
1993	5							5
1994	9	1						10
1995	7							7
1996	13							13
1997	24							24
1998	16				1			17
1999	5		2					7
2000	11						1	12
2001	18		1					19
2002	18			1				19
2003	14							14
2004	23							23
2005	7		1					8
2006	6							6
2007	4							4
計	196	1	4	1	1		1	204
種構成比	96.1%	0.5%	2.0%	0.5%	0.5%		0.5%	100%

表3.8 スズメバチ類の区別駆除件数

中区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983		1						1
1984	4							4
1985	1							1
1986	4							4
1987								
1988	4							4
1989	1							1
1990	6							6
1991	4							4
1992	3							3
1993	5							5
1994	14							14
1995	8			1				9
1996	12							12
1997	12							12
1998	16		1	2	1			20
1999	4		1	1				6
2000	8							8
2001	17				1			18
2002	18							18
2003	9							9
2004	22				1			23
2005	20							20
2006	8							8
2007	7							7
計	207	1	2	4	3			217
種構成比	95.4%	0.5%	0.9%	1.8%	1.4%			100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3.9 スズメバチ類の区別駆除件数

昭和区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983	3							3
1984	8							8
1985	6							6
1986	10	2						12
1987	12		1	1				14
1988	16							16
1989	8							8
1990	19		2					21
1991	25							25
1992	7				1			8
1993	16		1	1				18
1994	37		1		1			39
1995	48			1				49
1996	37			1				38
1997	41			1				42
1998	53			1				54
1999	39		1		1			41
2000	60				1			61
2001	60		1					61
2002	46				2			48
2003	46		1	1	3			51
2004	77		1	1	1			80
2005	83		1	2	2			88
2006	11							11
2007	9	2						11
計	777	4	10	10	12			813
種構成比	95.6%	0.5%	1.2%	1.2%	1.5%			100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3.10 スズメバチ類の区別駆除件数

瑞穂区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983	4							4
1984	12							12
1985	12		1					13
1986	15							15
1987	10		1					11
1988	15							15
1989	6							6
1990	18							18
1991	32		1					33
1992	7		1					8
1993	13							13
1994	42		1					43
1995	50				1			51
1996	36				1			37
1997	47				1			48
1998	54							54
1999	32		1					33
2000	25		2					27
2001	56							56
2002	40							40
2003	47				2			49
2004	25				1			26
2005	46		1	1	1			49
2006	2							2
2007	6							6
計	652		9	1	7			669
種構成比	97.5%		1.3%	0.1%	1.0%			100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3. 11 スズメバチ類の区別駆除件数

熱田区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983	1							1
1984	1							1
1985								
1986								
1987	2							2
1988								
1989	1							1
1990	1							1
1991	2							2
1992	3							3
1993	3							3
1994	6							6
1995	5							5
1996	2							2
1997	12							12
1998	17							17
1999	7							7
2000	13							13
2001	23		1					24
2002	20							20
2003	10							10
2004	15							15
2005	18							18
2006	9							9
2007	9							9
計	180		1					181
種構成比	99.4%		0.6%					100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3. 12 スズメバチ類の区別駆除件数

中川区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983								
1984	1							1
1985	1							1
1986								
1987	6	1						7
1988	6							6
1989	1							1
1990	1							1
1991	2							2
1992	8							8
1993	2							2
1994	4							4
1995	8							8
1996	15							15
1997	27							27
1998	13	1						14
1999	7		1					8
2000	15							15
2001	30							30
2002	8		1					9
2003	4		2					6
2004	9							9
2005	18		1					19
2006	3							3
2007	6							6
計	195	2	5					202
種構成比	96.5%	1.0%	2.5%					100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3. 13 スズメバチ類の区別駆除件数

港区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983	1							1
1984								
1985								
1986								
1987	3							3
1988	2		1					3
1989	1							1
1990								
1991	1							1
1992	6							6
1993	2							2
1994	3							3
1995	8							8
1996	11							11
1997	23		1					24
1998	11							11
1999	2							2
2000	13							13
2001	15		1					16
2002	14		1					15
2003	15		1	1				17
2004	14			1				15
2005	11							11
2006	7							7
2007	2							2
計	165		5	2				172
種構成比	95.9%		2.9%	1.2%				100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3. 14 スズメバチ類の区別駆除件数

南区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983								
1984	3							3
1985	3							3
1986	4							4
1987	8							8
1988	13							13
1989	2							2
1990	5							5
1991	12							12
1992	8							8
1993	9							9
1994	11							11
1995	20							20
1996	32							32
1997	44							44
1998	33		2					35
1999	9		1					10
2000	18		2		2			22
2001	27							27
2002	29							29
2003	33		2					35
2004	41							41
2005	40				1			41
2006	8				1			9
2007	8		1					9
計	420		8		4			432
種構成比	97.2%		1.9%		0.9%			100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3. 15 スズメバチ類の区別駆除件数

守山区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983	1							1
1984	10	2						12
1985	3							3
1986	20	10		1				31
1987	23	1		1				25
1988	26	3	2					31
1989	9	3	1					13
1990	31	4	1	3				39
1991	66	8	1	3				78
1992	26	7	1	1	1			36
1993	27	4		1				32
1994	62	11		1	2			76
1995	94	4	2	3	1			104
1996	108	5		1				114
1997	92	1	5	4	1			103
1998	140	14	9	4	3			170
1999	67	9	13	3				92
2000	125	7	4	2	1			139
2001	137	4	3	5	3			152
2002	122		2	2	2			128
2003	130	8	3	8	4			153
2004	177	3	5	2	1			188
2005	146	12	9	15	4			186
2006	24		1		1			26
2007	22			2				24
計	1688	120	62	62	24			1956
種構成比	86.3%	6.1%	3.2%	3.2%	1.2%			100%

表3. 16 スズメバチ類の区別駆除件数

緑区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャイロ	クロ	計
1983	3							3
1984	10		1					11
1985	7							7
1986	7				1			8
1987	20		1					21
1988	26		2					28
1989	13							13
1990	42			1				43
1991	46		8					54
1992	32	2	1					35
1993	35	1	3				1	40
1994	123	3	3		1			130
1995	119		1	1				121
1996	105		1					106
1997	130	1	10	4				145
1998	128	1	15	4				148
1999	79		11	4	2			96
2000	98	1	5	1	1			106
2001	156				3			159
2002	132		8	1	2			143
2003	144		8	1				153
2004	167		6	1	1			175
2005	170		7	6	5			188
2006	26							26
2007	32		1		1			34
計	1850	9	92	24	17		1	1993
種構成比	92.8%	0.5%	4.6%	1.2%	0.9%		0.1%	100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上



表3. 17 スズメバチ類の区別駆除件数

名東区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャロ	クロ	計
1983	5							5
1984	1							1
1985	16	1	1					18
1986	33	1	2	1				37
1987	39	1		2				42
1988	64		1	2				67
1989	10							10
1990	37	2	1	2				42
1991	65	3	8	1	1			78
1992	41	1	5	1			1	49
1993	46	2	4	1	1			54
1994	90	3	2	3				98
1995	136	1	1	4	1			143
1996	104			3	1			108
1997	107	5	6	3				121
1998	155	1	3	10				169
1999	75	1	14	2	1			93
2000	72		3	2	2	1		80
2001	83		3	1	1	1		89
2002	116		4	1				121
2003	104		4	4	1			113
2004	108	1	2	3	2			116
2005	133	1	5	6	4	1		150
2006	23				3			26
2007	15				2			17
計	1678	24	69	52	20	3	1	1847
種構成比	90.9%	1.3%	3.7%	2.8%	1.1%	0.2%	0.1%	100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表3. 18 スズメバチ類の区別駆除件数

天白区

年度	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	チャロ	クロ	計
1983	4							4
1984	3							3
1985	8				1			9
1986	24		1	1				26
1987	17							17
1988	36	1	4	2				43
1989	11							11
1990	46	2	4		1			53
1991	48	1	3					52
1992	29	3	1					33
1993	24	4	1	2				31
1994	68	2		2				72
1995	93		1	4				98
1996	71		3					74
1997	84		4	3				91
1998	77	1	3	7				88
1999	58		4	6	1			69
2000	113	1	4	5	2			125
2001	93		3	4	2			102
2002	85		2		1			88
2003	106		4	9	1			120
2004	152		2	4	1			159
2005	106		3	7	2			118
2006	19		1		1			21
2007	19							19
計	1394	15	48	56	13			1526
種構成比	91.3%	1.0%	3.1%	3.7%	0.9%			100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

図3.1 スズメバチ類の駆除件数の区別構成比 2002-2007

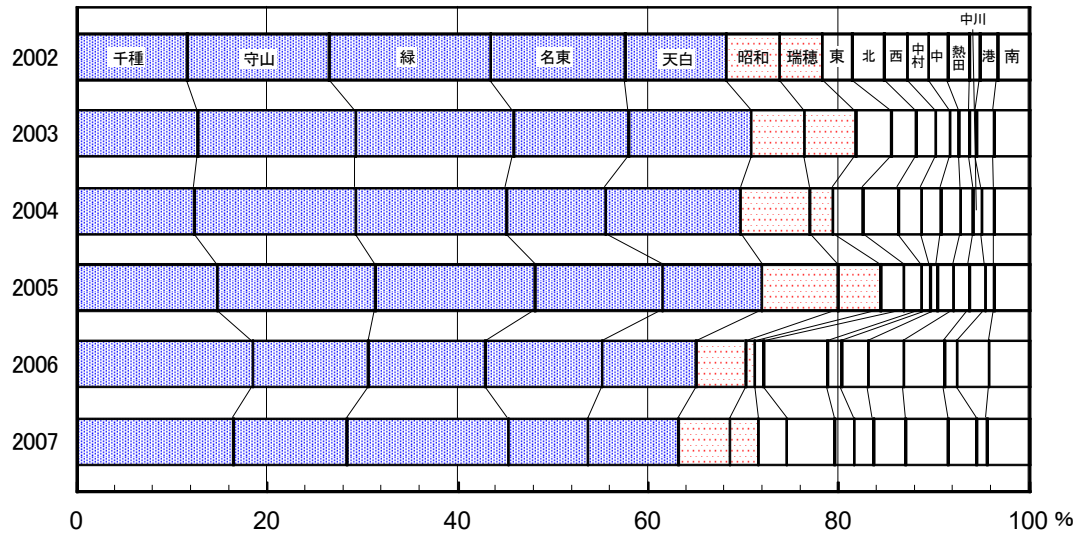


図3.2 コガタスズメバチの区別構成比 1983-2007

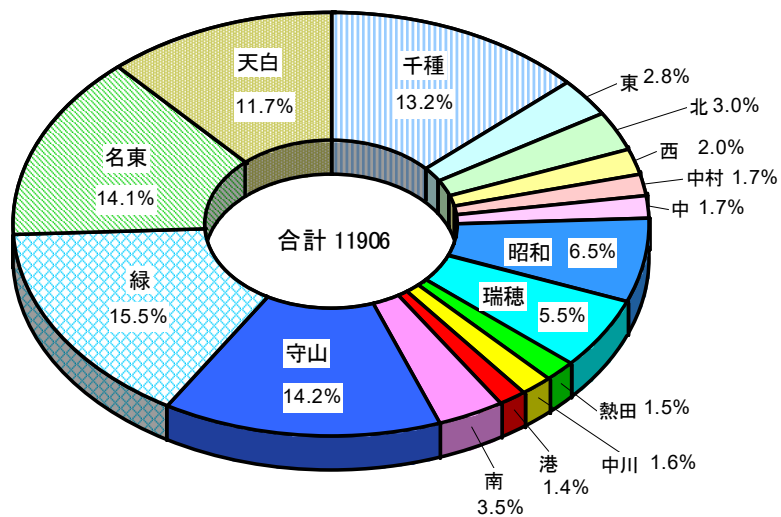


図3.3 キイロスズメバチの区別構成比 1983-2007

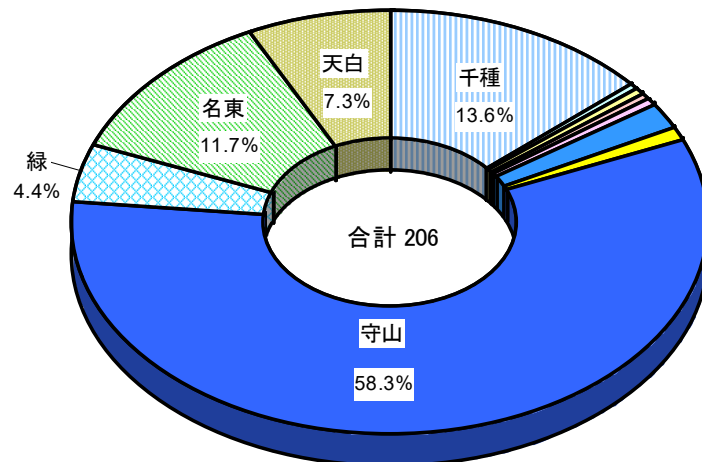


図3.4 ヒメスズメバチの区別構成比 1983-2007

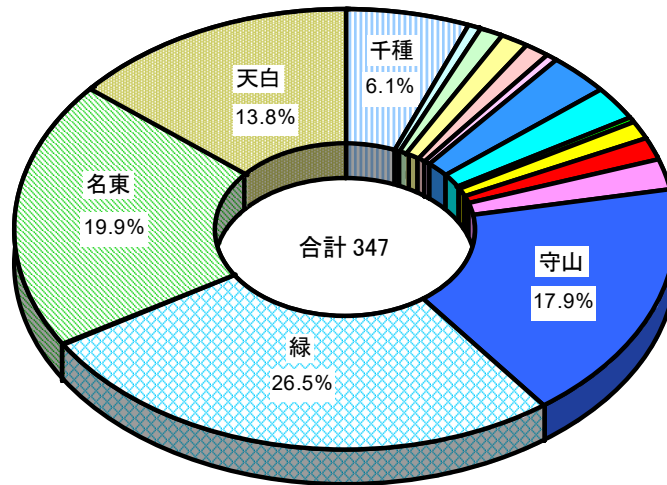


図3.5 モンスズメバチの区別構成比 1983-2007

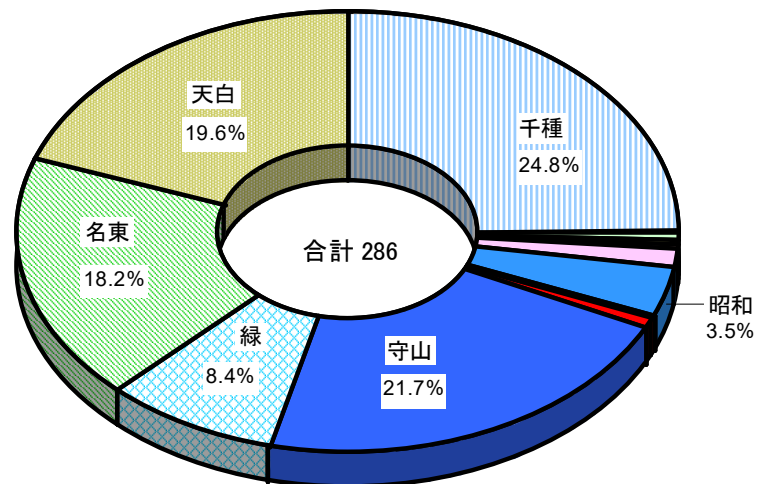
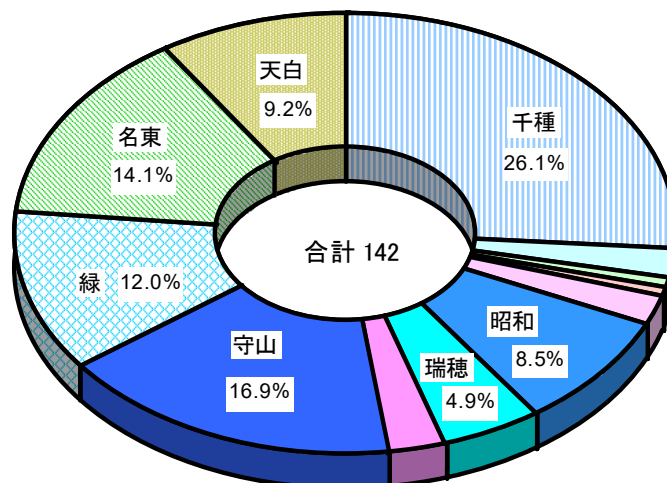


図3.6 オオスズメバチの区別構成比 1983-2007



#### 4 月別の発生状況

表4.1 スズメバチ類7種の月別の駆除件数（1983-2007）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
コガタ	2	338	809	1941	2859	3183	2208	517	47	2	11906
キイロ		1	2	44	78	55	22	3	1		206
ヒメ			10	39	195	90	13				347
モン		1	7	40	127	88	21	2			286
オオ			2	7	27	57	40	8	1		142
チャロ					2	2					4
クロ						1	1	4	1		7
計	2	340	830	2071	3288	3476	2305	534	50	2	12898
	0.0%	2.6%	6.4%	16.1%	25.5%	26.9%	17.9%	4.1%	0.4%	0.0%	100%

表4.2 スズメバチ類7種の年別・月別駆除件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1983	—	—	—	4	8	16	14	1			43
1984		1	1	6	13	8	29	3			61
1985		3	1	7	28	30	12	4			85
1986			2	9	55	57	43	1	1		168
1987		1	4	19	39	68	49	4			184
1988		3	11	19	78	112	49	8	3	1	284
1989			3	11	20	33	23	5	1		96
1990			9	35	109	86	43	3			285
1991		2	8	32	134	172	71	13	2	1	435
1992		3	12	34	53	82	46	17	3		250
1993		2	11	20	68	78	61	15	4		259
1994		11	22	88	146	187	128	18			600
1995		12	39	88	192	233	181	37	7		789
1996		14	38	118	181	179	147	36			713
1997		31	59	137	188	267	167	37	5		891
1998		41	99	227	244	236	113	26	2		988
1999		14	35	88	177	156	83	47	2		602
2000		19	46	146	200	182	138	33	2		766
2001		48	69	162	205	257	197	42	5		985
2002	2	38	55	179	208	196	143	29	1		851
2003		12	43	161	298	206	163	39	3		925
2004		41	147	202	267	245	153	49	5		1109
2005		21	91	224	276	276	180	46	2		1116
2006		20	12	26	52	55	37	9	1		212
2007		3	13	29	49	59	35	12	1		201
計	2	340	830	2071	3288	3476	2305	534	50	2	12898
割合	0.0%	2.6%	6.4%	16.1%	25.5%	26.9%	17.9%	4.1%	0.4%	0.0%	100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表4.3 コガタスズメバチの年別・月別駆除件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1983	—	—	—	4	5	16	14	1			40
1984		1	1	5	12	8	28	3			58
1985		3	1	7	25	27	12	4			79
1986			2	9	41	53	41	1	1		148
1987		1	4	19	34	64	47	4			173
1988		3	11	19	67	105	48	8	3	1	265
1989			3	11	17	31	22	5	1		90
1990			9	34	96	77	42	2			260
1991		2	8	31	107	159	68	13	1	1	390
1992		3	12	26	45	71	42	15	2		216
1993		2	10	20	56	63	56	14	4		225
1994		11	22	77	129	177	122	18			556
1995		12	39	86	174	220	180	37	7		755
1996		14	38	118	175	174	140	36			695
1997		31	59	129	166	236	162	35	5		823
1998		40	94	205	210	209	109	26	2		895
1999		13	32	77	132	136	73	46	2		511
2000		19	44	138	175	165	134	32	2		709
2001		48	68	155	187	239	192	41	4		934
2002	2	38	55	175	191	188	139	29	1		818
2003		12	42	150	257	189	152	38	3		843
2004		41	145	196	243	234	146	49	5		1059
2005		21	85	198	226	241	172	41	2		986
2006		20	12	25	46	48	34	8	1		194
2007		3	13	27	43	53	33	11	1		184
計	2	338	809	1941	2859	3183	2208	517	47	2	11906
割合	0.0%	2.8%	6.8%	16.3%	24.0%	26.7%	18.5%	4.3%	0.4%	0.0%	100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表4.4 キイロスズメバチの年別・月別駆除件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1983	—	—	—		3						3
1984				1	1						2
1985					1	2					3
1986					11	1	1				13
1987					2		1				3
1988					4	1					5
1989					2	2	1				5
1990					3	5		1			9
1991				1	8	5	1				15
1992				4	3	5	3		1		16
1993					7	5	4				16
1994				9	8	2	3				22
1995				1	2	4	1				8
1996					1	1	3				5
1997				3	2	3	1				9
1998		1		5	3	8	1				18
1999				2	4	2	1	1			10
2000				3	5	1					9
2001				2		3					5
2002											
2003				4	2	2		1			9
2004				1	3						4
2005			2	8	1	3	1				15
2006											
2007					2						2
計		1	2	44	78	55	22	3	1		206
割合		0.5%	1.0%	21.4%	37.9%	26.7%	10.7%	1.5%	0.5%		100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表4.5 ヒメスズメバチの年別・月別駆除件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1983	—	—	—								
1984							1				1
1985					1	1					2
1986					2		1				3
1987					2	2					4
1988					6	3	1				10
1989					1						1
1990				1	7	1					9
1991					17	6	1				24
1992				4	5	2					11
1993			1		4	6					11
1994					5	2					7
1995					4	1					5
1996					3	1					4
1997				4	15	12	1				32
1998			3	8	18	6	1				36
1999			2	3	31	12	4				52
2000			2	3	9	7					21
2001			1	2	6	7	1				17
2002				4	11	3					18
2003				4	16	5	2				27
2004				3	12	2					17
2005			1	3	16	10					30
2006					1	1					2
2007					3						3
計			10	39	195	90	13				347
割合			2.9%	11.2%	56.2%	25.9%	3.7%				100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表4.6 モンスズメバチの年別・月別駆除件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1983	—	—	—								
1984											
1985											
1986					1	2					3
1987					1	2	1				4
1988					1	3					4
1989											
1990					3	3					6
1991					2	2					4
1992						2		1			3
1993					1	3		1			5
1994				1	4	2	2				9
1995				1	10	6					17
1996					1	2	3				6
1997					5	13	1				19
1998			2	9	12	10					33
1999		1		4	10	3	2				20
2000				2	8	4	1				15
2001				3	8	5					16
2002					6	1					7
2003			1	2	19	5	4				31
2004			2	2	8	4	2				18
2005			2	14	25	10	3				54
2006				1	1	3					5
2007				1	1	3	2				7
計		1	7	40	127	88	21	2			286
割合		0.3%	2.4%	14.0%	44.4%	30.8%	7.3%	0.7%			100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表4.7 オオスズメバチの年別・月別駆除件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1983	—	—	—								
1984											
1985					1						1
1986						1					1
1987											
1988											
1989											
1990							1				1
1991							1				1
1992						1	1				2
1993						1	1				2
1994				1		4	1				6
1995					2	2					4
1996					1	1	1				3
1997				1		3	1	1			6
1998					1	3	2				6
1999			1	2		3	3				9
2000					3	4	3				10
2001					3	3	4	1	1		12
2002						4	4				8
2003				1	4	5	5				15
2004					1	5	5				11
2005			1	1	7	11	4	5			29
2006					4	3	3				10
2007				1		3		1			5
計			2	7	27	57	40	8	1		142
割合			1.4%	4.9%	19.0%	40.1%	28.2%	5.6%	0.7%		100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

表4.8 チャイロスズメバチの年別・月別駆除件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1983	—	—	—								
1984											
1985											
1986											
1987											
1988											
1989											
1990											
1991											
1992						1					1
1993											
1994											
1995											
1996											
1997											
1998											
1999											
2000						1					1
2001					1						1
2002											
2003											
2004											
2005					1						1
2006											
2007											
計					2	2					4
割合					50.0%	50%					100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上



表4.9 クロスズメバチの年別・月別駆除件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1983	—	—	—								
1984											
1985											
1986											
1987											
1988											
1989											
1990											
1991									1		1
1992								1			1
1993											
1994											
1995											
1996											
1997							1	1			2
1998											
1999											
2000								1			1
2001											
2002											
2003											
2004											
2005						1					1
2006								1			1
2007											
計						1	1	4	1		7
割合						14.3%	14.3%	57.1%	14.3%		100%

\* 2006年・2007年は生活衛生センターによる駆除分のみを計上

図4.1 コガタスズメバチの月別延駆除件数 1983-2007

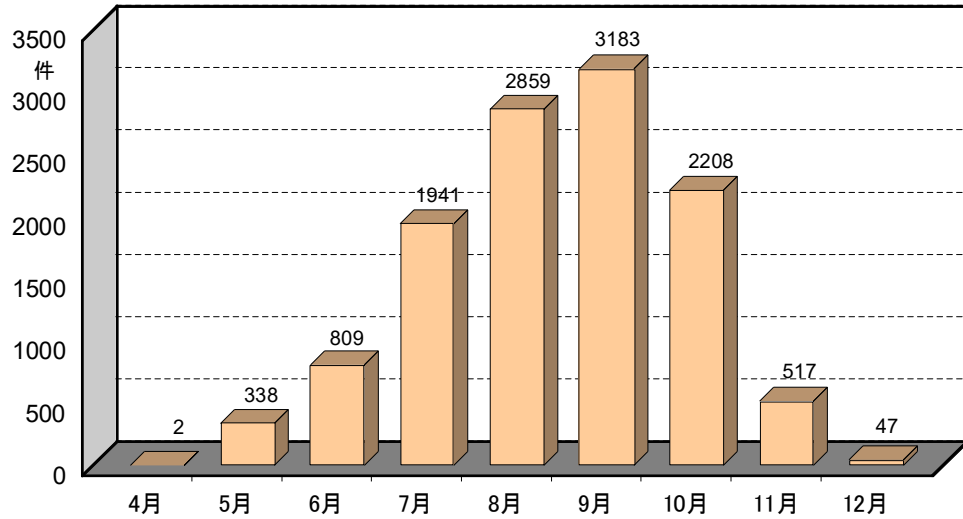


図4.2 コガタスズメバチの月別駆除件数 2000-2007

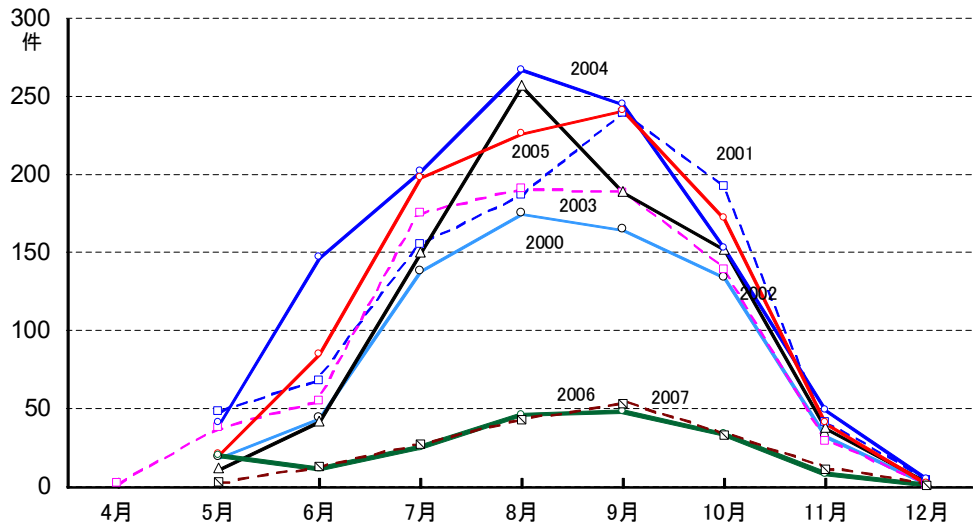
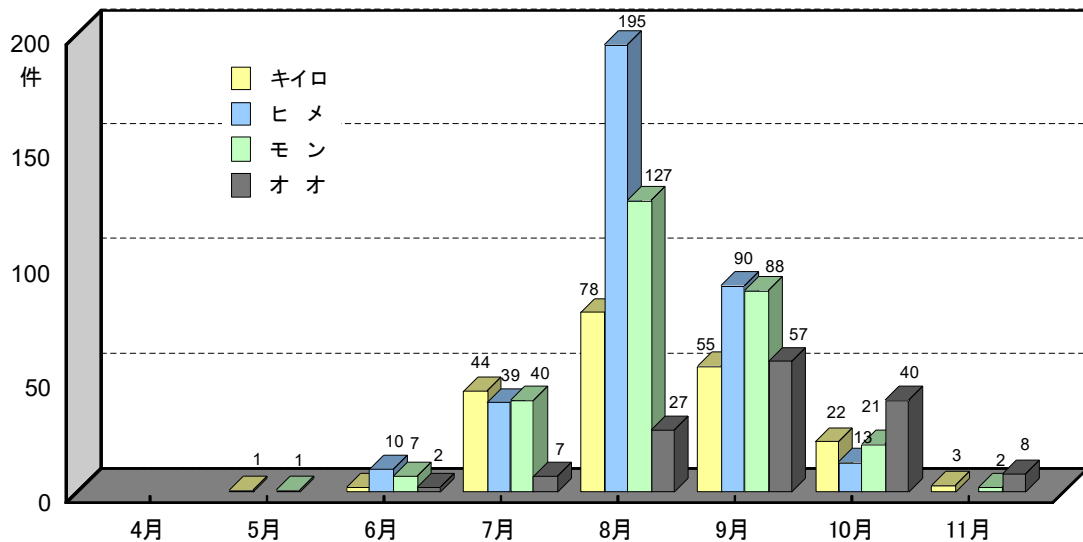


図4.3 コガタスズメバチを除くスズメバチ類4種の月別駆除件数 1983-2007



## 5 スズメバチ類の営巣場所

表5.1 スズメバチ類の営巣場所 (1983-2007)

	開放空間		遮蔽空間				計
	家屋等	樹枝・幹	家屋等	樹洞	地中	その他	
コガタ	2413	9491	2				11906
	20.3%	79.7%	0.0%				100%
キイロ	100	11	93	1	1		206
	48.5%	5.3%	45.1%	0.5%	0.5%		100%
ヒメ			273	19	26	29	347
			78.7%	5.5%	7.5%	8.4%	100%
モン	8		193	54	3	28	286
	2.8%		67.5%	18.9%	1.0%	9.8%	100%
オオ			2	25	109	6	142
			1.4%	17.6%	76.8%	4.2%	100%
チャイロ	1		2	1			4
	25.0%		50%	25.0%			100%
クロ			1		6		7
			14.3%		85.7%		100%

※ 家屋等には人工の工作物を全て含む

表5.2 スズメバチ類7種の営巣場所の高さ (1983-2007)

	1m未満	1m以上 2m未満	2m以上 3m未満	3m以上	計	平均	(S.D)
コガタ(樹木)	1003	4235	2498	1619	9355	1.9m	(1.3m)
〃 (家屋)	54	251	1283	816	2404	2.8m	(1.7m)
キイロ	15	10	33	143	201	3.8m	(1.9m)
ヒメ	161	74	53	51	339	1.3m	(1.5m)
モン	45	42	38	156	281	3.4m	(2.6m)
オオ	131	3	1	2	137	0.1m	(0.5m)
チャイロ			3	1	4	3.9m	(2.7m)
クロ	6		1		7	0.3m	(0.7m)

※ 落下・未記載等で不明分を除く

表5.3 コガタスズメバチの営巣場所

営巣場所		1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
開放空間	軒 下	7	7	9	8	18	31	9	25	50	25	31	96	109
	外 壁	7		1	3	2	16		3	9	13	10	18	19
	小屋の内部*		1	3	2	7	6		1	8	3	3	8	7
	塀・フェンス				2	2	1			2	1		5	4
	ベ ラ ン ダ		3		1		3			3	1	2	6	4
	窓 枠			1		1	3		1	1			3	1
	そ の 他			1		3	3	1	4	5	1		6	10
小 計		14	11	15	16	33	63	10	34	78	44	46	142	154
遮	その他													
樹 木		26	47	64	132	140	202	80	226	312	172	179	414	601
計		40	58	79	148	173	265	90	260	390	216	225	556	755

		1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	計
開放空間	軒 下	119	148	132	45	107	149	76	114	204	107	10	3	1639
	外 壁	8	33	18	2	17	25	19	34	26	17	6	7	313
	小屋の内部*	9	11	9	1	13	7	9	8	18	9	1	1	145
	塀・フェンス	4	4	6	4	2	9	3	2	10	6	2	2	71
	ベ ラ ン ダ	5	7	7	6	5	1	1	1	3	3		1	63
	窓 枠	2	3	6	1	4	5	1		9	6	3	3	54
	そ の 他	6	15	9	9	8	8	4	6	14	12	2	1	128
小 計		153	221	187	68	156	204	113	165	284	160	24	18	2413
遮	その他		1		1									2
樹 木		542	601	708	442	553	730	705	678	775	826	170	166	9491
計		695	823	895	511	709	934	818	843	1059	986	194	184	11906

\* 開放的な小屋や車庫・通路などの天井や柱、壁面など

表5.4 コガタスズメバチが営巣した主な樹木 (1983-2007)

順位	種 名	科 名	件数	割合
1	サザンカ	ツバキ科	1336	14.1%
2	ツバキ	ツバキ科	773	8.1%
3	ツツジ	ツツジ科	745	7.8%
4	キンモクセイ	モクセイ科	730	7.7%
5	アラカシ	ブナ科	405	4.3%
6	カナメモチ	バラ科	343	3.6%
7	カイヅカイブキ	ヒノキ科	234	2.5%
8	ウバメガシ	ブナ科	202	2.1%
9	サツキ	ツツジ科	201	2.1%
10	ヒイラギ	モクセイ科	167	1.8%

\* 樹木営巣の総数：9492件 但し、樹木名未記載および不明分が1504件含まれる。

表5.5 キイロスズメバチの営巣場所

営巣場所		1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
遮閉空間	天井裏			2	1	2	3		1	3	6	5	6	
	壁 間				3				2	1	1	1	1	
	床 下					1							3	1
	庇の中	1					2							
	墓 石												1	
	水道メーター													1
	樹 洞 その他									1			2	1
小 計		1		2	4	3	5		3	5	7	6	13	3
開放空間	軒 下	2	2	1	8			3	4	8	8	8	4	4
	建物の天井				1				1			1		1
	外 壁							1					4	
	ベランダ							1				1		
	その他									2	1			
小 計		2	2	1	9			5	5	10	9	10	8	5
樹 木									1			1		
計		3	2	3	13	3	5	5	9	15	16	17	21	8

営巣場所		1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	計
遮閉空間	天井裏	1	3	7	4	4			2	1	4		1	56
	壁 間		1		1	1								12
	床 下			1										6
	庇の中				1					1				5
	墓 石													1
	水道メーター													1
	樹 洞 その他 *		1											1
小 計		1	2	3			1				2			13
開放空間	軒 下	2	7	11	6	5	1		2	2	6		1	95
	建物の天井 **	1	1	5	3	2	4		4	2	5		1	80
	外 壁								3					7
	ベランダ										1			6
	その他 ***										2			2
	小 計	1	1	5	3	2	4		7	2	8		1	100
樹 木		2	1	2	1	2					1			11
計		5	9	18	10	9	5		9	4	15		2	206

\* その他の内訳：ブロック塀, 小屋の中, 通気孔, 風呂の焚き口, 箱の中, 戸袋  
温水器の囲い, 陶器の人形, 排気ダクト

\*\* 開放的な物置、通路などの天井

\*\*\* その他の内訳：電柱, 換気扇

表5.10 クロスズメバチの営巣場所

営巣場所		1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
遮閉	地 中									1				
	庭石の隙間													
	天井裏										1			
計										1				
営巣場所		1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	計
遮閉	地 中		1			1					1	1		5
	庭石の隙間		1											1
	天井裏													1
計			2			1					1	1		7

表5.6 ヒメスズメバチの営巣場所

営巣場所		1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
遮 閉 空 間	床 下					1	3			6	3		2	2
	戸 袋					1	4	1	3	3	2	3	3	2
	建築資材・家具								2	3		4		
	物置・小屋				1				1	4	2	1		1
	天井裏				1		1			2		1		
	地中			1			1		1	1	2		2	
	壁 間			1							1	1		
	樹 洞									2		1		
	薪・枯れ木					1	1			2	1			
	墓 石				1				1					
	ブロック					1			1	1				
	その他		1											
計			1	2	3	4	10	1	9	24	11	11	7	5

営巣場所		1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	計
遮 閉 空 間	床 下	1	9	13	10	3	9	8	5	5	4			84
	戸 袋	2	8	3	14	2		1	8	3	5			68
	建築資材・家具 *		7	3	4		3	3	1	3	2		1	36
	物置・小屋 **		4	4	4	3	1	1	1	2	3			33
	天井裏	1		1	7	1		2	7		1		1	26
	地中 ***		1	4	2	5	2	1		2	1			26
	壁 間			1	5	4	1		2	1	7	1	1	26
	樹 洞		2	3	2	1		2	1	1	3	1		19
	薪・枯れ木			1	1	1					1			9
	墓 石								2					4
	ブロック													3
	その他		1	3	3	1	1				3			13
計		4	32	36	52	21	17	18	27	17	30	2	3	347

\* 屋外に放置された家具や箱など

\*\* 小屋の中の棚や箱など

\*\*\* 水道メーターなど地中の構造物を含む

表5.8 オオスズメバチの営巣場所

営巣場所		1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
遮 閉 空 間	地 中			1	1				1	1	1	1	4	4
	樹 洞										1		2	
	雨水マス											1		
	瓶 の 中													
	落ち葉の下													
	床 下													
計				1	1				1	1	2	2	6	4

営巣場所		1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	計
遮 閉 空 間	地 中	3	4	4	7	6	9	3	12	10	24	6	5	107
	樹 洞		1	2		4	3	4	3	1	2	2		25
	雨水マス										1			2
	瓶 の 中		1									1		2
	落ち葉の下				1			1			1			3
	床 下				1									1
計		3	6	6	9	10	12	8	15	11	29	10	5	142

表5.7 モンスズメバチの営巣場所

営巣場所		1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
遮 閉 空 間	天井裏				1	2	1		2	3	1	4	3	4
	樹木(樹洞)											1	2	1
	壁 間						1		1					2
	庇の中					1	1						2	1
	戸 袋				2	1			1					2
	建築資材・家具								2					1
	物置・小屋の中 *						1			1	1			1
	鳥の巣箱												2	3
	墓 石													1
	床 下													1
	その他													
小 計					3	4	4		6	4	2	5	9	17
開 放	軒 下										1			
	外 壁													
	小 計										1			
計					3	4	4		6	4	3	5	9	17
営巣場所		1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	計
遮 閉 空 間	天井裏	1	10	17	8	3	2	2	13	4	10	1	1	93
	樹木(樹洞)	4	4	4	1	4	1	1	5	4	20		2	54
	壁 間		1		1	3	3		2	4	6			24
	庇の中			3	3		3	1	1	1	1			18
	戸 袋		3	1	2	1			1		3			17
	建築資材・家具	1		5			1		1		3	1		15
	物置・小屋の中 *			1	1	1			3					10
	鳥の巣箱					1			1					7
	墓 石				2				1	1	1			6
	床 下		1				2	1						5
	その他			1	2	2	3	1	2	3	8	3	4	29
小 計		6	19	32	20	15	15	6	30	17	52	5	7	278
開 放	軒 下			1			1	1	1		1			6
	外 壁									1	1			2
	小 計			1			1	1	1	1	2			8
計		6	19	33	20	15	16	7	31	18	54	5	7	286

\* 物置の天井や内壁など

表5.9 チャイロスズメバチの営巣場所

営巣場所		1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
遮 蔽	壁 間													
	鳥の巣箱										1			
開	樹 洞													
	軒 下													
計											1			
営巣場所		1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	計
遮 蔽	壁 間					1								1
	鳥の巣箱													1
開	樹 洞						1							1
	軒 下										1			1
計						1	1				1			4



図5.1 スズメバチ類5種の営巣場所 1983-2007

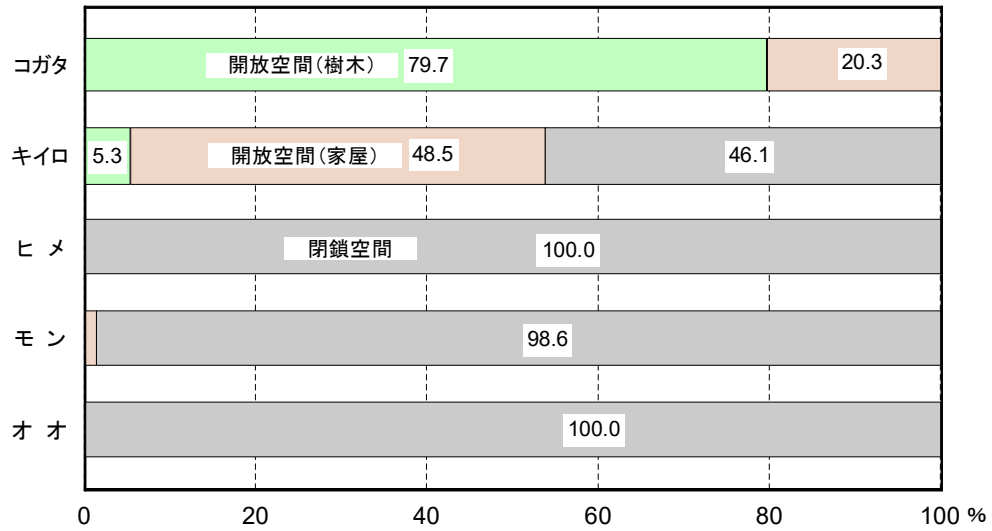


図5.2 スズメバチ類7種の営巣場所の高さの平均 1983-2007

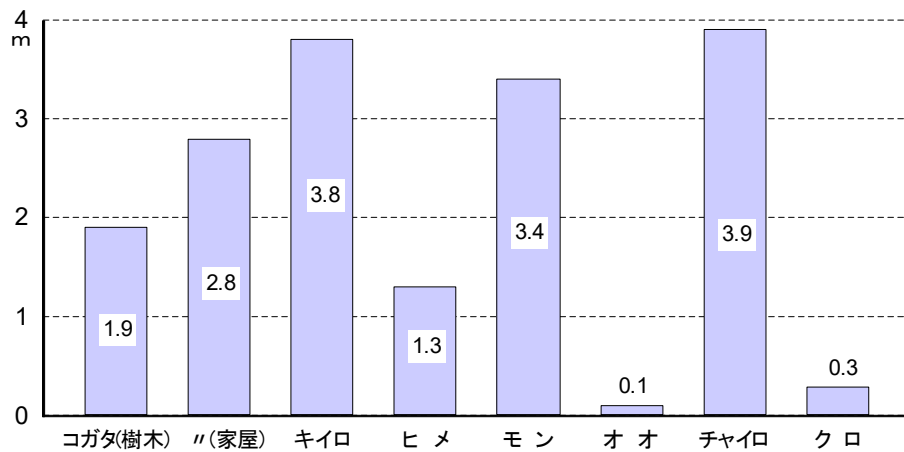


図5.3 コガタを除くスズメバチ類4種の営巣場所の高さ 1983-2007

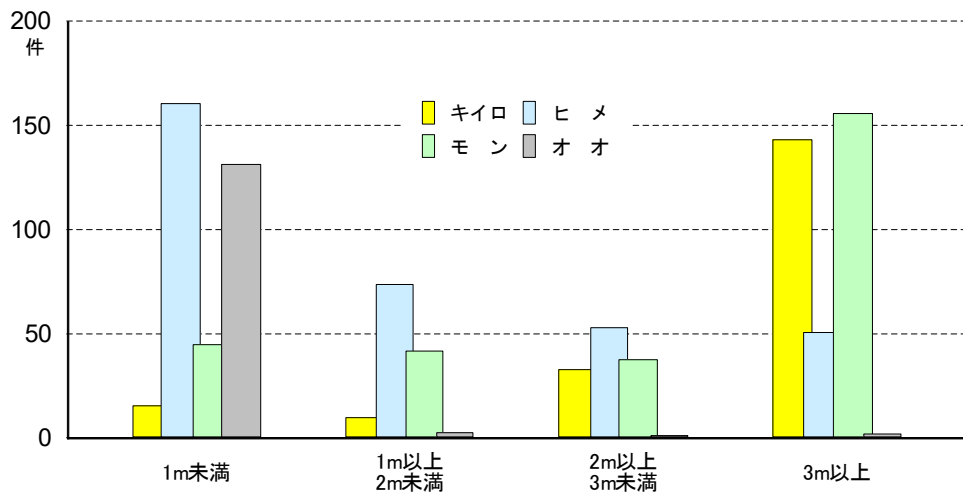


図5.4 コガタスズメバチの営巣場所の高さ 1983-2007

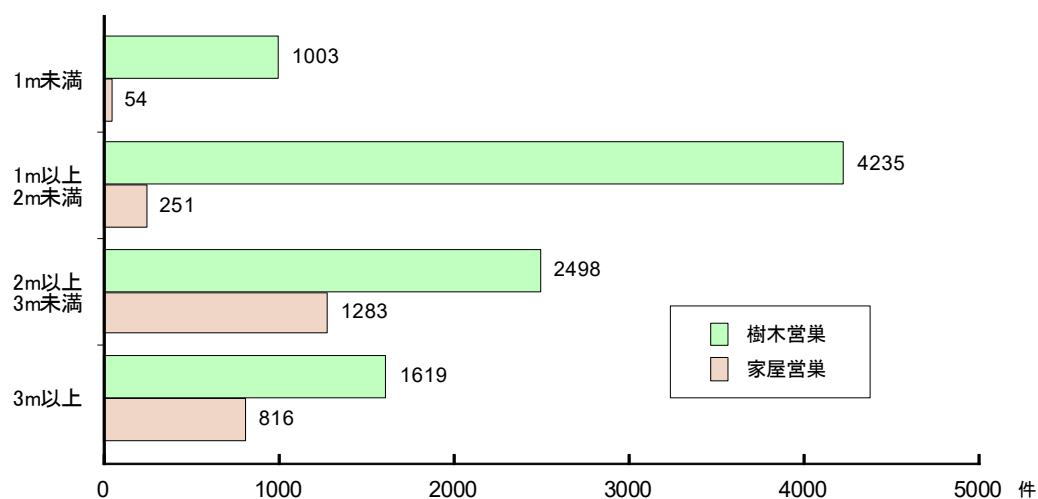


図5.5 コガタスズメバチの営巣場所の年別割合 2002-2007

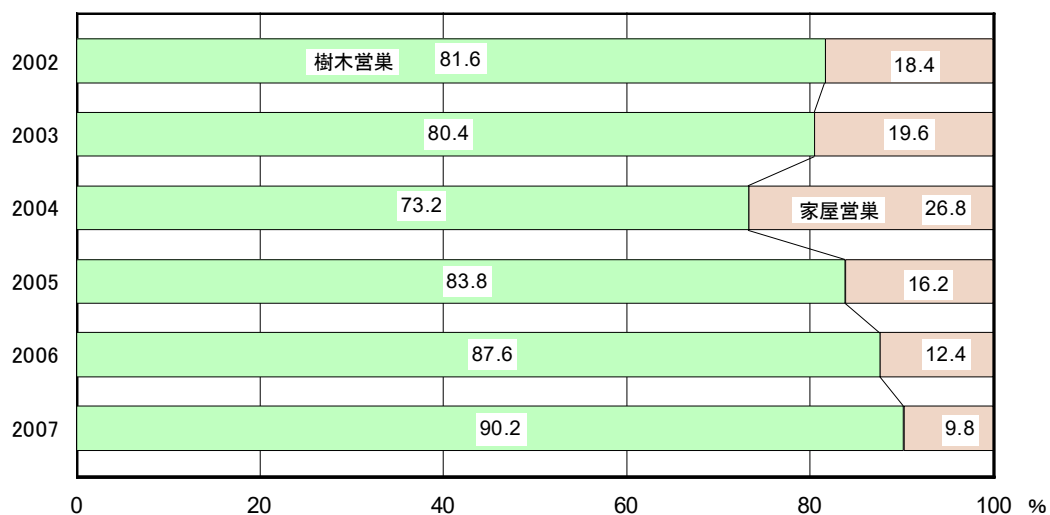
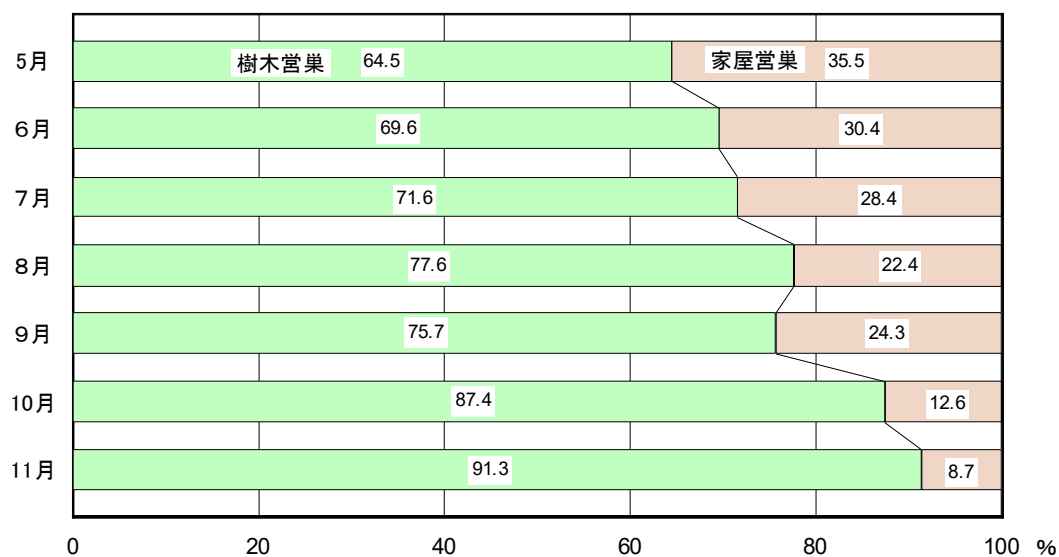


図5.6 コガタスズメバチの営巣場所の月別割合 1983-2007



## 6 スズメバチ類のコロニーの発達

表6.1 育房数からみたスズメバチ類7種の最大巣の記録

	育房数	巣盤数	駆除月日	区	営巣場所
コガタ	1955	5	2003/10/3	守山	サザンカ
キイロ	6428	9	1990/9/12	名東	軒下
ヒメ	442	4	1993/9/20	天白	電線のドラム内
モン	4708	9	2003/10/8	千種	鳥の巣箱
オオ	4177	8	1998/10/9	中村	樹洞
チャイロ	2441	8	1992/9/9	千種	鳥の巣箱
クロ	7462	7	2005/9/22	千種	土中

表62. 育房数からみたコガタスズメバチの最大巣の記録（最近10年間）

	育房数	巣盤数	成虫数	駆除月日	区	営巣場所
1998	1508	5	141	10/20	西	スダジイ
1999	1284	5	16	11/15	緑	ソヨゴ
2000	1074	4	156	10/11	中川	サザンカ
2001	1314	4	200	10/16	中川	軒下
2002	1501	5	257	10/16	中川	サザンカ
2003	1955	5	395	10/3	守山	サザンカ
2004	1169	4	256	9/27	中川	イスノキ
2005	1424	5	250	10/11	中川	カイズカイブキ
2006	1075	5	206	10/13	天白	ケヤキ
2007	1254	5	162	11/5	北	樹種不明

表6.3 スズメバチ類5種の駆除開始日と駆除終了日

	駆除開始日					駆除終了日				
	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ
1998	5/1	5/7	6/16	6/9	8/21	12/3	10/8	10/13	9/29	10/9
1999	5/13	7/9	6/16	5/26	6/15	11/17	11/22	10/14	10/28	10/25
2000	5/15	7/11	6/26	7/17	8/14	12/11	9/14	9/28	10/12	10/24
2001	5/8	7/24	7/24	7/12	8/9	12/5	9/17	10/12	9/19	12/3
2002	4/26	—	7/25	8/1	9/3	12/3	—	9/3	9/25	10/30
2003	5/7	7/17	7/22	6/26	7/17	12/16	11/5	10/6	10/23	10/28
2004	5/6	7/20	7/29	6/18	8/25	12/21	8/13	9/7	10/12	10/29
2005	5/6	6/13	6/17	6/24	6/23	12/1	10/13	9/27	10/12	11/21
2006	5/17	—	8/3	7/27	8/2	12/6	—	9/8	9/14	10/24
2007	5/13	8/29	8/7	7/17	7/31	12/10	8/29	8/29	10/11	11/14
平均	5/8	7/8	7/12	7/2	7/31	12/6	9/30	9/23	10/6	11/2

表6.4 コガタスズメバチの駆除実施期間

	開始日	終了日	期 間	件 数
1983	7/14	11/7	117	40
1984	5/21	11/27	191	58
1985	5/22	11/14	177	79
1986	6/4	12/5	185	147
1987	5/28	11/25	182	173
1988	5/17	1/11	240	265
1989	6/30	12/6	160	90
1990	6/9	11/7	152	260
1991	5/23	1/12	235	390
1992	5/26	12/8	197	216
1993	5/28	12/13	200	225
1994	5/17	11/17	185	556
1995	5/18	12/22	219	755
1996	5/14	11/25	196	695
1997	5/7	12/24	232	823
1998	5/1	12/3	217	895
1999	5/13	11/17	189	511
2000	5/15	12/11	211	709
2001	5/8	12/5	212	934
2002	4/26	12/3	222	818
2003	5/7	12/16	224	843
2004	5/6	12/21	230	1059
2005	5/6	12/1	210	985
2006	5/17	12/6	204	194
2007	5/18	12/10	207	184
平年	5/20	12/5	200	
最近10年 間の平均	5/8	12/6	213	

※ 1983年は7月から駆除開始

表6.5 コガタスズメバチのコロニーの発達状況

	働きバチの出現	オスの出現		新女王の出現
		正常な巣	女王が早期 死亡した巣	
1996	6/20	7/20	(7/28)	9/4
1997	6/12	8/18		9/2
1998	5/28	8/10	(7/21)	8/31
1999	6/14	8/23	(7/26)	8/31
2000	6/16	8/10	(7/31)	9/28
2001	6/5	7/9		9/3
2002	5/27	8/15	(8/12)	8/19
2003	6/9	8/5	(7/29)	8/21
2004	6/9	6/28	(7/20)	9/10
2005	6/10	7/25	(7/20)	8/19
2006	6/20	9/19	(7/20)	10/3
2007	6/11	8/29	(8/27)	9/11
平均	6/9	8/7	(7/29)	9/4

表6.6 コガタスズメバチのコロニーの発達

	ワーカー出現	巣 盤 数			
		2層の初出	3層の初出	4層の初出	5層の初出
1983	—	7/14	9/8	9/9	—
1984	7/16	7/25	(9/14)	9/12	10/4
1985	7/8	7/9	8/26	9/18	—
1986	6/26	7/15	8/19	9/17	9/30
1987	6/11	6/11	8/8	9/11	9/25
1988	6/28	7/12	7/28	9/12	—
1989	7/11	7/27	8/18	(10/2)	9/25
1990	6/27	7/18	8/17	9/15	10/3
1991	6/18	7/10	7/31	9/5	10/8
1992	6/20	7/13	8/17	9/11	10/13
1993	6/24	7/20	8/16	9/13	10/12
1994	6/8	6/30	8/16	9/2	9/30
1995	6/20	7/10	8/4	9/8	10/3
1996	6/6	7/17	8/7	9/13	—
1997	6/12	7/7	7/31	9/10	—
1998	5/29	6/29	7/27	8/11	9/14
1999	6/11	6/30	7/21	9/6	9/13
2000	6/16	7/6	8/17	9/18	10/6
2001	6/5	7/11	7/23	9/3	9/28
2002	5/27	6/25	7/26	9/9	9/20
2003	6/9	6/23	7/24	8/26	9/30
2004	6/9	6/28	7/27	9/1	10/6
2005	6/10	6/21	7/20	8/17	9/16
2006	6/20	7/13	8/8	9/25	10/13
2007	6/11	7/9	8/8	8/27	10/11
平均	6/17	7/7	8/7	9/7	9/30
最近10年間の平均	6/8	7/1	7/29	9/1	9/27

※ ( )内は平年に含まず

表6.7 コガタスズメバチの巣盤数の発達 (1983-2007)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	割合
1層	1	309	690	1193	688	206	79	29			3195	29.7%
2層			17	579	1553	1298	306	46	4		3803	35.3%
3層				28	413	1059	878	160	13		2551	23.7%
4層					6	306	610	128	11	1	1062	9.9%
5層						25	86	32	3		146	1.4%
6層							2				2	0.0%
計		309	707	1800	2660	2894	1961	395	31	1	10759	100%

※ 廃巣，再営巣のデータは含まれない

表6.8 コガタスズメバチの育房数の発達 (1988-2007)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	割合
-199	1	223	594	1385	1187	725	218	47	1		4381	47.2%
200-399			2	263	1001	1030	473	76	4		2849	30.7%
400-599				15	180	492	467	82	5		1241	13.4%
600-799					15	187	253	62	3		520	5.6%
800-999						54	126	26	2		208	2.2%
1000-						15	43	20			78	0.8%
計		223	596	1663	2383	2503	1580	313	15		9277	100%

※ 廃巣，再営巣のデータは含まれない

表6.9 コガタスズメバチのコロニーの発達（育房数）

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1990	平均		38.4	113.2	219.8	370.2	557.2	439.0	
	偏差	—	15.2	55.1	96.0	178.5	231.1	309.7	—
	(N)		(8)	(17)	(64)	(57)	(33)	(2)	
1991	平均	19.0	28.0	108.7	205.8	278.1	461.9	456.5	
	偏差	1.4	5.8	62.0	83.7	182.0	249.7	252.8	—
	(N)	(2)	(5)	(28)	(89)	(137)	(56)	(11)	
1992	平均		28.7	95.5	207.6	308.5	547.6	492.6	437.0
	偏差	—	11.6	56.0	80.8	166.9	265.1	227.7	161.2
	(N)		(6)	(22)	(42)	(64)	(37)	(14)	(2)
1993	平均	12.0	25.8	86.1	199.0	328.7	512.0	622.3	343.0
	偏差		5.7	51.5	91.4	161.7	247.7	263.8	88.0
	(N)	(1)	(5)	(15)	(52)	(59)	(49)	(10)	(4)
1994	平均	18.0	55.9	96.4	174.5	279.6	382.9	541.8	
	偏差	4.2	21.5	58.5	78.8	175.8	188.6	251.0	—
	(N)	(2)	(14)	(70)	(122)	(164)	(104)	(9)	
1995	平均	16.3	38.2	105.5	203.7	323.5	458.8	505.0	
	偏差	2.5	18.6	53.4	81.3	166.0	216.3	191.7	—
	(N)	(8)	(33)	(77)	(155)	(185)	(144)	(25)	
1996	平均	15.3	29.4	80.6	172.6	295.1	418.9	487.4	
	偏差	7.8	11.0	46.2	96.1	156.9	183.9	217.4	—
	(N)	(12)	(28)	(109)	(163)	(158)	(109)	(20)	
1997	平均	16.3	37.8	96.9	219.5	303.4	442.8	478.9	323.0
	偏差	3.4	17.1	58.4	106.5	185.9	241.7	282.4	
	(N)	(24)	(47)	(114)	(152)	(209)	(130)	(29)	(1)
1998	平均	18.2	63.8	173.9	264.7	408.7	532.6	579.3	
	偏差	5.3	29.0	96.8	125.6	228.7	249.2	228.3	—
	(N)	(18)	(79)	(191)	(185)	(160)	(74)	(10)	
1999	平均	23.5	55.1	172.5	305.3	488.0	626.6	664.7	565.0
	偏差	4.8	29.8	95.5	128.7	225.4	276.3	304.3	
	(N)	(11)	(25)	(67)	(113)	(120)	(67)	(34)	(1)
2000	平均	16.3	44.0	93.9	166.2	269.2	405.6	563.7	439.0
	偏差	3.3	18.9	54.3	77.3	146.2	209.2	239.1	
	(N)	(15)	(33)	(128)	(162)	(147)	(99)	(12)	(1)
2001	平均	18.9	43.5	99.5	172.7	301.5	440.2	449.4	197.0
	偏差	4.1	18.9	56.5	83.8	192.2	214.0	263.9	
	(N)	(42)	(50)	(137)	(172)	(207)	(150)	(22)	(1)
2002	平均	18.3	43.1	130.6	206.6	306.0	443.5	492.5	864.0
	偏差	4.1	21.7	77.3	116.9	185.9	283.3	240.4	
	(N)	(28)	(42)	(163)	(177)	(178)	(107)	(17)	(1)
2003	平均	23.9	60.7	187.7	310.0	450.8	661.0	660.1	688.5
	偏差	8.0	30.7	102.1	133.4	224.8	310.4	299.7	27.6
	(N)	(9)	(40)	(137)	(234)	(163)	(130)	(25)	(2)
2004	平均	17.9	46.2	99.9	173.0	279.9	388.5	452.4	789.0
	偏差	5.8	25.5	59.0	99.2	166.9	212.3	230.8	75.0
	(N)	(21)	(110)	(173)	(224)	(212)	(106)	(31)	(2)
2005	平均	16.7	67.9	151.7	256.4	380.3	512.2	502.8	
	偏差	6.0	32.6	88.9	121.2	217.2	269.0	296.5	
	(N)	(14)	(50)	(169)	(200)	(184)	(99)	(16)	
2006	平均	15.6	24.8	86.2	176.5	305.9	416.5	353.0	
	偏差	2.7	7.4	56.7	103.7	146.6	226.7		
	(N)	(11)	(5)	(16)	(33)	(34)	(24)	(1)	
2007	平均	10.0	48.4	131.1	256.3	363.3	621.2	714.5	
	偏差		33.4	57.2	156.9	219.1	261.8	449.3	
	(N)	(1)	(5)	(18)	(29)	(39)	(21)	(6)	
平均	平均	17.9	48.7	125.3	218.9	332.1	477.1	533.3	505.9
	偏差	5.2	26.6	81.4	116.4	197.6	249.9	268.7	217.7
	(N)	(219)	(585)	(1650)	(2362)	(2472)	(1537)	(294)	(15)
最近10 年の平 間の平	平均	18.5	52.7	136.6	230.5	351.8	497.0	555.3	627.5
	偏差	5.2	28.0	86.7	126.1	210.5	265.3	286.4	222.5
	(N)	(170)	(439)	(1198)	(1525)	(1443)	(876)	(174)	(8)

表6.10 コガタスズメバチのコロニーの発達（成虫数）

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1983	平均			19.8	45.0	82.1	93.5	30.0	
	偏差			3.9	18.8	70.6	62.2	0.0	
	(N)			(4)	(5)	(11)	(14)	(1)	
1984	平均	1.0	1.0	16.6	42.9	88.5	94.3	9.0	
	偏差	0.0	0.0	7.8	32.4	52.9	40.4	0.0	
	(N)	(1)	(1)	(5)	(11)	(8)	(27)	(1)	
1985	平均	1.0	1.0	11.9	37.1	69.2	88.4	30.5	
	偏差	0.0	0.0	15.6	28.5	59.4	44.9	7.8	
	(N)	(2)	(1)	(7)	(24)	(25)	(7)	(2)	
1986	平均		3.5	13.7	58.6	118.2	98.4	20.0	
	偏差		3.5	6.7	41.0	62.7	45.7	20.0	
	(N)		(2)	(9)	(38)	(47)	(36)	(1)	
1987	平均	1.0	13.3	11.5	40.1	90.0	90.6	31.0	
	偏差	0.0	20.7	8.7	28.3	53.2	48.3	0.0	
	(N)	(1)	(4)	(20)	(33)	(56)	(43)	(1)	
1988	平均	1.0	2.1	13.4	29.8	69.3	80.6	23.8	8.3
	偏差	0.0	2.2	13.5	24.5	48.5	56.0	17.7	5.1
	(N)	(3)	(9)	(18)	(64)	(100)	(43)	(6)	(3)
1989	平均		1.0	13.7	34.4	65.1	101.8	32.8	23.0
	偏差		0.0	6.5	20.9	44.8	64.2	26.2	0.0
	(N)		(2)	(9)	(17)	(28)	(22)	(5)	(1)
1990	平均		3.3	18.1	48.9	89.2	72.2	33.5	
	偏差		2.2	8.5	28.3	46.3	42.4	31.8	
	(N)		(7)	(31)	(86)	(65)	(36)	(2)	
1991	平均	1.0	2.1	13.9	36.6	60.3	64.9	35.1	
	偏差	0.0	1.2	9.8	20.8	42.5	48.8	38.4	
	(N)	(2)	(8)	(27)	(95)	(148)	(63)	(13)	
1992	平均	1.0	2.5	11.1	36.4	57.9	82.4	30.0	5.0
	偏差	0.0	2.3	7.2	24.4	37.2	62.5	32.3	4.2
	(N)	(2)	(6)	(22)	(45)	(66)	(38)	(14)	(2)
1993	平均	1.0	1.1	6.4	33.5	73.2	80.5	48.6	9.5
	偏差	0.0	0.3	5.2	25.9	43.0	48.5	26.4	8.2
	(N)	(2)	(9)	(19)	(51)	(60)	(49)	(13)	(4)
1994	平均	1.0	4.5	14.5	35.7	57.5	60.3	43.6	
	偏差	0.0	3.0	9.6	22.7	45.1	39.2	43.1	
	(N)	(9)	(19)	(69)	(121)	(155)	(105)	(14)	
1995	平均	1.0	3.3	11.5	38.9	66.3	64.9	43.3	14.5
	偏差	0.0	2.9	7.7	22.7	40.3	40.3	31.4	14.8
	(N)	(10)	(34)	(78)	(157)	(180)	(155)	(29)	(2)
1996	平均	1.0	2.2	8.8	28.6	54.4	57.9	32.3	
	偏差	0.0	2.4	6.0	23.0	34.7	39.7	27.0	
	(N)	(14)	(30)	(111)	(160)	(157)	(122)	(26)	
1997	平均	1.0	3.5	10.3	38.6	58.0	53.1	37.1	7.5
	偏差	0.0	2.9	7.0	28.0	40.6	34.0	34.5	7.8
	(N)	(26)	(50)	(108)	(148)	(209)	(130)	(29)	(2)
1998	平均	1.1	6.2	21.1	56.6	77.4	65.7	40.5	6.0
	偏差	0.5	3.4	15.7	41.4	51.5	45.3	26.4	1.4
	(N)	(32)	(79)	(188)	(179)	(164)	(78)	(13)	(2)
1999	平均	1.0	4.4	18.3	66.6	109.5	102.4	36.1	7.0
	偏差	0.0	3.9	12.3	44.6	61.7	63.4	32.5	0.0
	(N)	(13)	(28)	(66)	(109)	(121)	(67)	(34)	(2)
2000	平均	1.0	3.0	11.8	31.9	56.9	64.1	53.9	24.0
	偏差	0.0	2.5	7.7	24.4	40.4	39.8	43.3	0.0
	(N)	(19)	(40)	(128)	(156)	(145)	(107)	(19)	(1)

(次ページへ続く)

(前ページより続く)

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2001	平均	1.0	3.8	14.3	34.8	61.3	71.8	31.3	3.7
	偏差	0.0	2.6	10.1	24.6	46.4	43.6	27.9	1.5
	(N)	(46)	(56)	(132)	(165)	(201)	(166)	(24)	(3)
2002	平均	1.0	3.9	18.1	42.7	66.9	78.8	41.3	48.0
	偏差	0.2	3.0	12.5	34.8	44.8	50.2	36.3	0.0
	(N)	(21)	(45)	(161)	(178)	(177)	(119)	(22)	(1)
2003	平均	1.0	6.4	23.1	61.2	108.5	97.5	38.9	41.0
	偏差	0.0	4.7	14.3	39.3	58.7	59.2	29.6	8.5
	(N)	(9)	(40)	(136)	(233)	(164)	(133)	(30)	(2)
2004	平均	1.0	4.1	14.2	33.7	60.5	59.2	20.5	5.0
	偏差	0.0	3.7	9.8	25.8	43.1	39.3	22.7	0.0
	(N)	(34)	(130)	(171)	(223)	(211)	(118)	(40)	(1)
2005	平均	1.0	6.0	19.5	51.3	78.3	75.8	23.3	
	偏差	0.0	2.9	14.4	33.4	50.4	48.2	18.1	
	(N)	(14)	(61)	(172)	(196)	(201)	(130)	(20)	
2006	平均	1.0	2.0	8.3	31.8	61.0	63.7	21.5	
	偏差	0.0	2.2	5.5	26.8	31.5	48.4	7.8	
	(N)	(8)	(5)	(14)	(33)	(33)	(24)	(2)	
2007	平均	1.0	4.1	15.9	57.3	78.7	103.8	75.3	
	偏差	0.0	2.7	8.8	52.2	50.4	40.5	53.2	
	(N)	(3)	(8)	(19)	(29)	(43)	(28)	(6)	
平均	平均	1.0	4.3	15.7	42.9	71.0	73.1	35.9	12.7
	偏差	0.2	3.8	12.0	32.8	49.5	48.2	31.9	13.1
	(N)	(281)	(674)	(1719)	(2550)	(2762)	(1852)	(367)	(27)
最近10年 間の平均	平均	1.0	4.7	17.5	46.9	75.4	76.7	35.2	15.7
	偏差	0.2	3.6	13.0	36.2	52.2	50.1	32.3	16.9
	(N)	(209)	(492)	(1187)	(1499)	(1459)	(970)	(210)	(13)

表6.11 コガタスズメバチのカスト別平均成虫数 (1998-2007の平均値)

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
女王	平均	1.0	1.0	0.9	0.9	0.8	0.6	0.2	0.0
	偏差	0.0	0.1	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	0.0
新女王	平均				0.1	0.5	5.7	11.1	2.7
	偏差				0.5	3.3	12.9	19.2	6.3
オス	平均		0.0	0.2	2.0	13.4	33.3	4.4	1.3
	偏差		0.1	2.0	9.5	21.4	30.7	10.9	2.6
働き蜂	平均	0.0	3.7	16.4	43.9	60.7	37.1	19.5	11.7
	偏差	0.2	3.6	12.9	35.1	41.8	27.0	17.1	11.8
計	平均	1.0	4.7	17.5	46.9	75.4	76.7	35.2	15.7
	偏差	0.2	3.6	13.0	36.2	52.2	50.1	32.3	16.9
	(N)	(209)	(492)	(1187)	(1499)	(1459)	(970)	(210)	(13)



図6.1 コガタスズメバチの平均育房数の月別変化

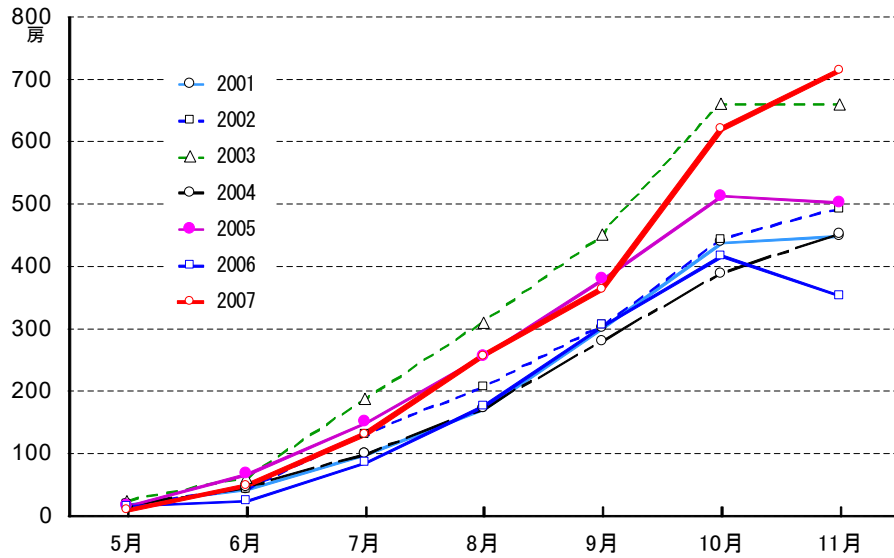


図6.2 コガタスズメバチの平均成虫数の月別変化

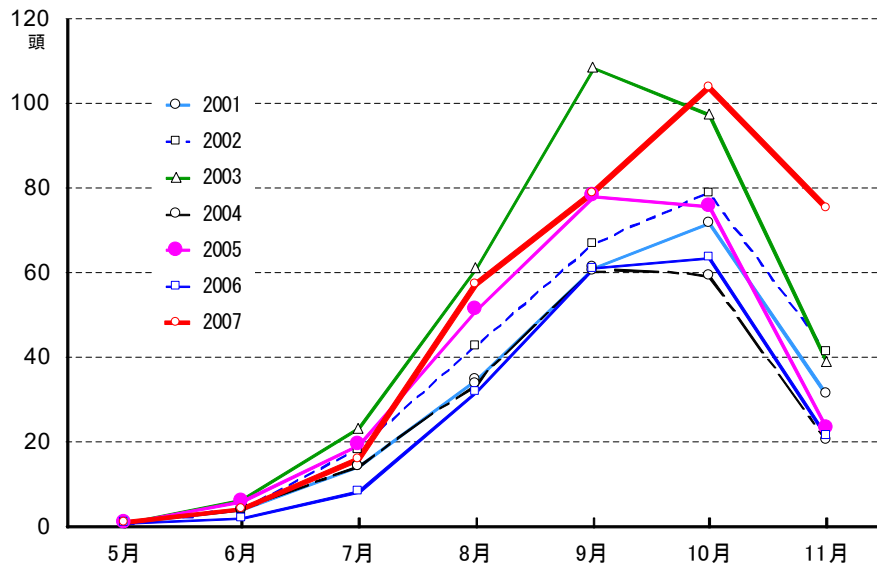


図6.3 コガタスズメバチ1巣当たりの平均成虫数の変化 1998-2007

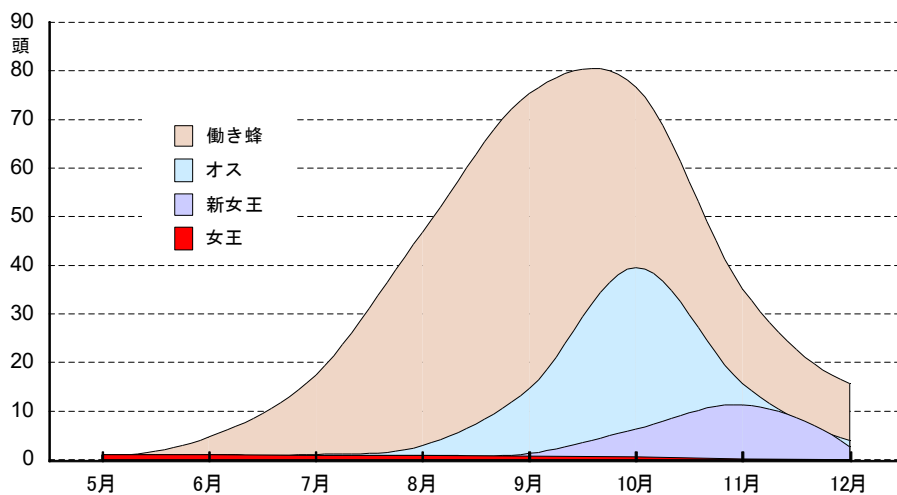


図6.4 コガタスズメバチの育房数の発達 1988-2007

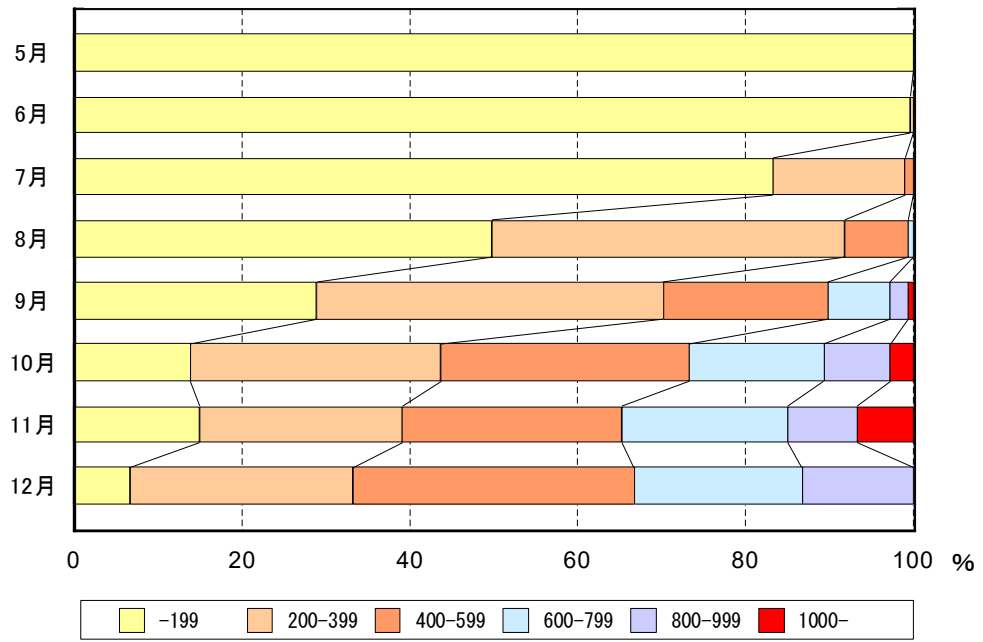
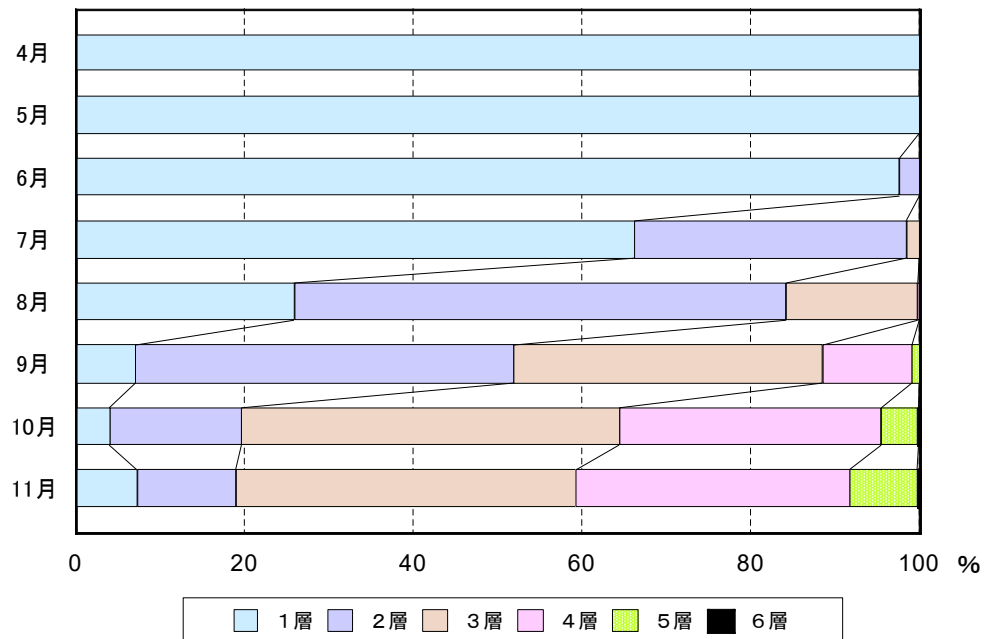


図6.5 コガタスズメバチの巣盤数の発達 1983-2007



## 7 刺傷被害の発生状況

表7.1 刺傷被害の発生状況（1988-2007）

	コガタ	キイロ	ヒメ	モン	オオ	クロ	計
駆除件数	11409	182	337	279	139	7	12357
被害件数	820	43	6	15	33	3	920
被害人数	871	55	6	15	51	4	1002
平均被害人数	1.1	1.3	1.0	1.0	1.5	1.3	1.1
発生率	7.2%	23.6%	1.8%	5.4%	23.7%	42.9%	7.4%

※ 計にはチャイロ 4 件を含む

※ 被害件数÷営巣数×100(%)

表7.2 スズメバチ類による刺傷被害の発生状況

	駆除件数	被害件数	被害人数	発生率
1988	284	19	24	6.7%
1989	96	9	10	9.4%
1990	285	24	26	8.4%
1991	435	36	37	8.3%
1992	250	18	24	7.2%
1993	259	24	27	9.3%
1994	600	43	45	7.2%
1995	789	48	49	6.1%
1996	713	43	45	6.0%
1997	891	55	64	6.2%
1998	988	63	72	6.4%
1999	602	48	51	8.0%
2000	766	62	73	8.1%
2001	985	76	83	7.7%
2002	851	66	66	7.8%
2003	925	77	79	8.3%
2004	1109	77	85	6.9%
2005	1116	102	108	9.1%
2006	212	11	12	5.2%
2007	201	19	22	9.5%
計	12357	920	1002	7.4%

表7.3 スズメバチ類6種による刺傷被害の月別発生状況 (1988-2007)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
コガタ		34 4.1%	117 14.3%	209 25.5%	234 28.5%	191 23.3%	35 4.3%		820 100%
キイロ			5 11.6%	18 41.9%	14 32.6%	5 11.6%	1 2.3%		43 100%
ヒメ			1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%				6 100%
モン			2 13.3%	10 66.7%	1 6.7%	2 13.3%			15 100%
オオ			1 3.0%	5 15.2%	13 39.4%	14 42.4%			33 100%
クロ					2 66.7%		1 33.3%		3 100%
計		34 3.7%	126 13.7%	245 26.6%	266 28.9%	212 23.0%	37 4.0%		920 100%

表7.4 刺傷被害の原因別発生件数 (1988-2007)

	剪定中 草刈り中	駆除作業中	いたずら	近くを通行 近くで作業	その他 不明	計
コガタ	581	37	51	81	70	820
キイロ	3	8		27	5	43
ヒメ	1	1		3	1	6
モン	3	1		4	7	15
オオ	9	5		19		33
クロ				1	2	3
計	597 64.9%	52 5.7%	51 5.5%	135 14.7%	85 9.2%	920 100%

表7.5 営巣の高さと刺傷被害の発生状況 (1988-2007)

	1m未満	1m以上 2m未満	2m以上 3m未満	3m以上	計	営巣の高さ 平均 ±SD	
コガタ 樹木	139	384	162	83	768	1.6	1.0
家屋	4	6	15	14	39	2.7	1.8
キイロ	5	5	10	21	41	3.0	1.9
ヒメ	2	1		2	5	1.6	1.6
モン	4	4	1	6	15	3.2	3.2
オオ	32	1			33	0.1	0.3
クロ	2		1		3	0.8	1.1

※ 営巣の高さが不明の分は除く

表7.6 コガタスズメバチによる刺傷被害の発生状況

	駆除件数	被害件数	被害人数	発 生 率
1988	265	14	18	5.3%
1989	90	8	9	8.9%
1990	260	19	21	7.3%
1991	390	33	34	8.5%
1992	216	14	16	6.5%
1993	225	18	20	8.0%
1994	556	37	38	6.7%
1995	755	44	45	5.8%
1996	695	40	42	5.8%
1997	823	49	49	6.0%
1998	895	54	59	6.0%
1999	511	42	45	8.2%
2000	709	56	66	7.9%
2001	935	72	75	7.7%
2002	818	64	64	7.8%
2003	843	71	72	8.4%
2004	1059	72	77	6.8%
2005	986	90	94	9.1%
2006	194	6	7	3.1%
2007	184	17	20	9.2%
計	11409	820	871	7.2%

表7.6.2 コガタスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1988				1	8	4	1		14
1989				3	3	2			8
1990			2	12	2	3			19
1991			2	10	14	7			33
1992			3	1	7	2	1		14
1993				6	5	6	1		18
1994			3	6	16	12			37
1995		1	1	8	18	14	2		44
1996		1	6	14	11	7	1		40
1997			6	10	16	13	4		49
1998		6	14	7	14	12	1		54
1999		2	9	9	10	8	4		42
2000		1	11	13	15	14	2		56
2001		1	5	18	21	23	4		72
2002		2	15	13	21	12	1		64
2003		4	9	25	14	12	7		71
2004		6	13	21	20	10	2		72
2005		10	16	25	13	25	1		90
2006			1	2	3				6
2007			1	5	3	5	3		17
計		34	117	209	234	191	35		820
		4.1%	14.3%	25.5%	28.5%	23.3%	4.3%		100%

表7.7 キイロスズメバチによる刺傷被害の発生状況

	駆除件数	被害件数	被害人数	発 生 率
1988	5	5	6	100%
1989	5	1	1	20.0%
1990	9	5	5	55.6%
1991	15	1	1	6.7%
1992	16	2	2	12.5%
1993	16	6	7	37.5%
1994	22	4	5	18.2%
1995	8	2	2	25.0%
1996	5	1	1	20.0%
1997	9	2	2	22.2%
1998	18	4	7	22.2%
1999	10	3	3	30.0%
2000	9	1	1	11.1%
2001	5	1	5	20.0%
2002				
2003	9	1	2	11.1%
2004	4	1	1	25.0%
2005	15	2	3	13.3%
2006				
2007	2	1	1	50.0%
計	182	43	55	23.6%

表7.7.2 キイロスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1988				4	1				5
1989					1				1
1990				3	1		1		5
1991						1			1
1992			1	1					2
1993				1	3	2			6
1994			1	2		1			4
1995			1	1					2
1996					1				1
1997			1	1					2
1998				1	3				4
1999				3					3
2000					1				1
2001					1				1
2002									
2003					1				1
2004			1						1
2005				1	1				2
2006									
2007				1					1
計			5	19	14	4	1		43
			11.6%	44.2%	32.6%	9.3%	2.3%		100%

表7.8 ヒメスズメバチによる刺傷被害の発生状況

	駆除件数	被害件数	被害人数	発生率
1988	10			
1989	1			
1990	9			
1991	24	2	2	8.3%
1992	11			
1993	11			
1994	7			
1995	5			
1996	4			
1997	32			
1998	36	1	1	2.8%
1999	52			
2000	21	1	1	4.8%
2001	17			
2002	18			
2003	27			
2004	17			
2005	30	1	1	3.3%
2006	2			
2007	3	1	1	33.3%
計	337	6	6	1.8%

表7.8.2 ヒメスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1988									
1989									
1990									
1991				2					2
1992									
1993									
1994									
1995									
1996									
1997			1						1
1998									
1999									
2000					1				1
2001									
2002									
2003									
2004									
2005					1				1
2006									
2007				1					1
計			1	3	2				6
			16.7%	50.0%	33.3%				100%

表7.9 モンスズメバチによる刺傷被害の発生状況

	駆除件数	被害件数	被害人数	発 生 率
1988	4			
1989				
1990	6			
1991	4			
1992	3			
1993	5			
1994	9	1	1	11.1%
1995	17	1	1	5.9%
1996	6	1	1	16.7%
1997	19	1	1	5.3%
1998	33	2	2	6.1%
1999	20	1	1	5.0%
2000	15	2	2	13.3%
2001	16	1	1	6.3%
2002	7			
2003	31			
2004	18	1	1	5.6%
2005	54	4	4	7.4%
2006	5			
2007	7			
計	279	15	15	5.4%

表7.9.2 モンスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1988									
1989									
1990									
1991									
1992									
1993									
1994				1					1
1995				1					1
1996						1			1
1997				1					1
1998				2					2
1999			1						1
2000			1		1				2
2001				1					1
2002									
2003									
2004						1			1
2005				4					4
2006									
2007									
計			2	10	1	2			15
			13.3%	66.7%	6.7%	13.3%			100%



表7.10 オオスズメバチによる刺傷被害の発生状況

	駆除件数	被害件数	被害人数	発 生 率
1988				
1989				
1990	1			
1991	1			
1992	2	1	4	50.0%
1993	2			
1994	6	1	1	16.7%
1995	4	1	1	25.0%
1996	3	1	1	33.3%
1997	6	2	11	33.3%
1998	6	2	3	33.3%
1999	9	2	2	22.2%
2000	10	1	2	10.0%
2001	11	2	2	18.2%
2002	8	2	2	25.0%
2003	15	5	5	33.3%
2004	11	3	6	27.3%
2005	29	5	6	17.2%
2006	10	5	5	50.0%
2007	5			
計	139	33	51	23.7%

表7.10.2 オオスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1988									
1989									
1990									
1991									
1992						1			1
1993									
1994					1				1
1995					1				1
1996					1				1
1997			1		1				2
1998						2			2
1999						2			2
2000						1			1
2001					1	1			2
2002						2			2
2003				1	2	2			5
2004				1	1	1			3
2005				2	3				5
2006				1	2	2			5
2007									
計			1	5	13	14			33
			3.0%	15.2%	39.4%	42.4%			100%

表7.11 クロスズメバチによる刺傷被害の発生状況

	駆除件数	被害件数	被害人数	発生率
1988				
1989				
1990				
1991	1			
1992	1	1	2	100%
1993				
1994				
1995				
1996				
1997	2	1	1	50.0%
1998				
1999				
2000	1	1	1	100%
2001				
2002				
2003				
2004				
2005	1			
2006	1			
2007				
計	7	3	4	42.9%

表7.11.2 クロスズメバチによる刺傷被害の月別発生状況

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1988									
1989									
1990									
1991									
1992					1				1
1993									
1994									
1995									
1996									
1997					1				1
1998									
1999							1		1
2000									
2001									
2002									
2003									
2004									
2005									
2006									
2007									
計					2		1		3
					66.7%		33.3%		100%

図7.1 スズメバチ類による刺傷被害の発生状況

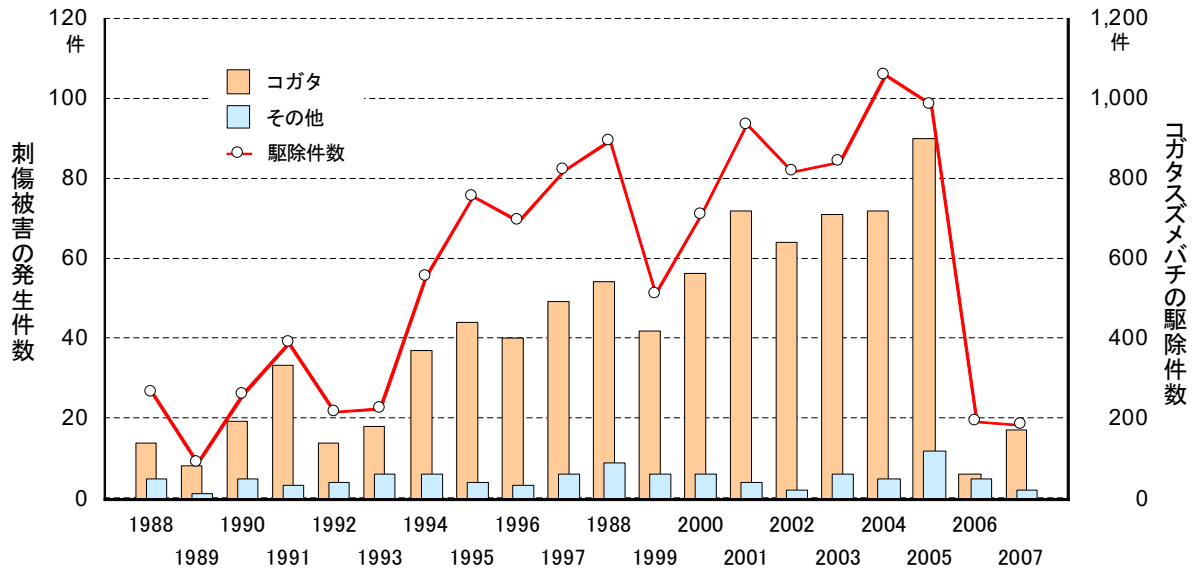


図7.2 刺傷被害の月別発生件数

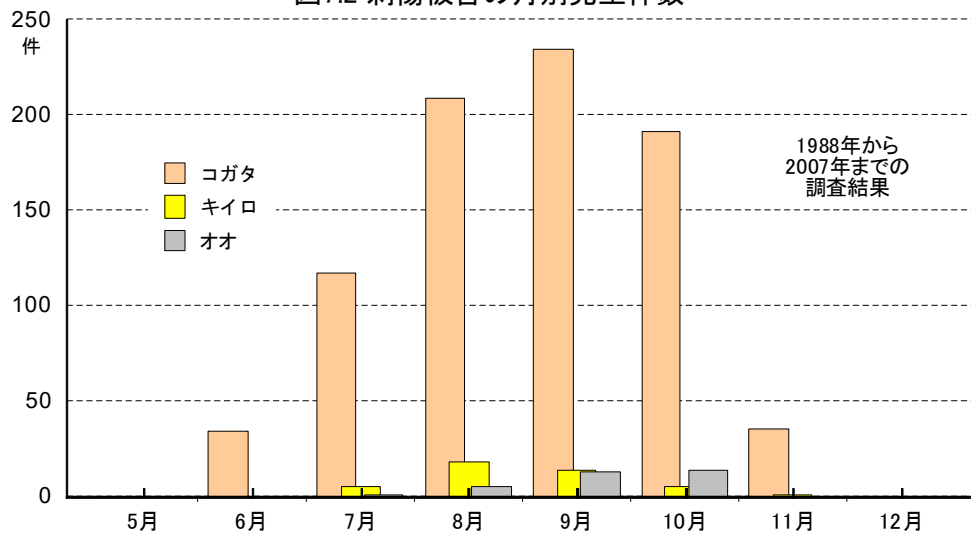


図7.3 スズメバチ類5種の刺傷被害の発生率 1988-2007

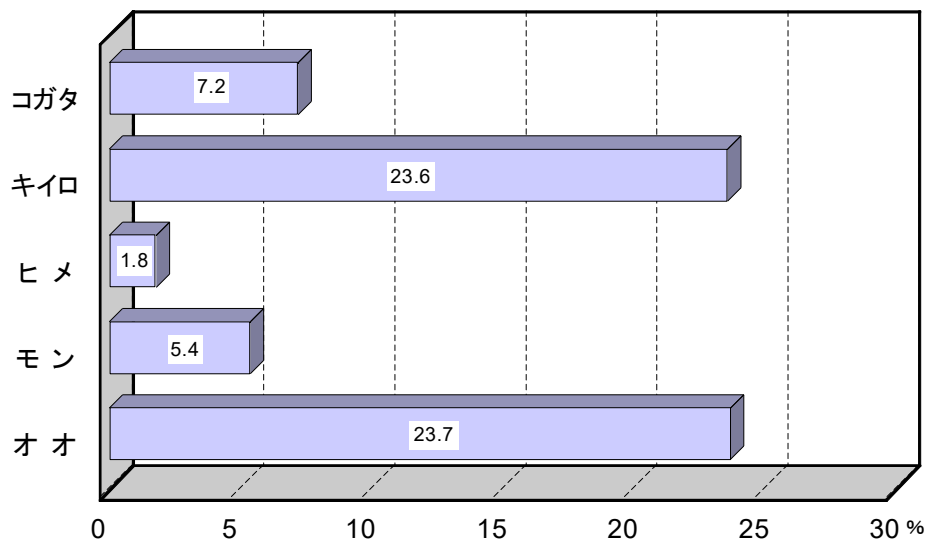


図7.4 コガタスズメバチによる月別の刺傷被害発生状況

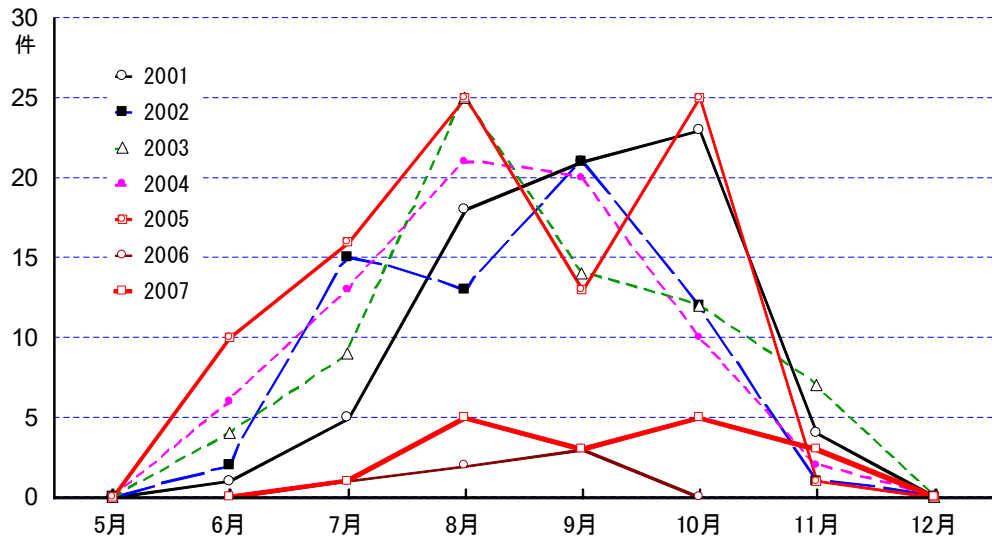


図7.5 コガタスズメバチによる刺傷被害の発生原因

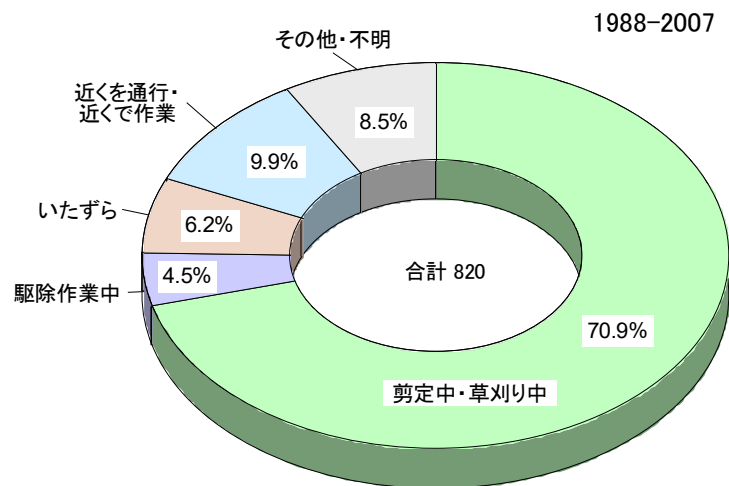
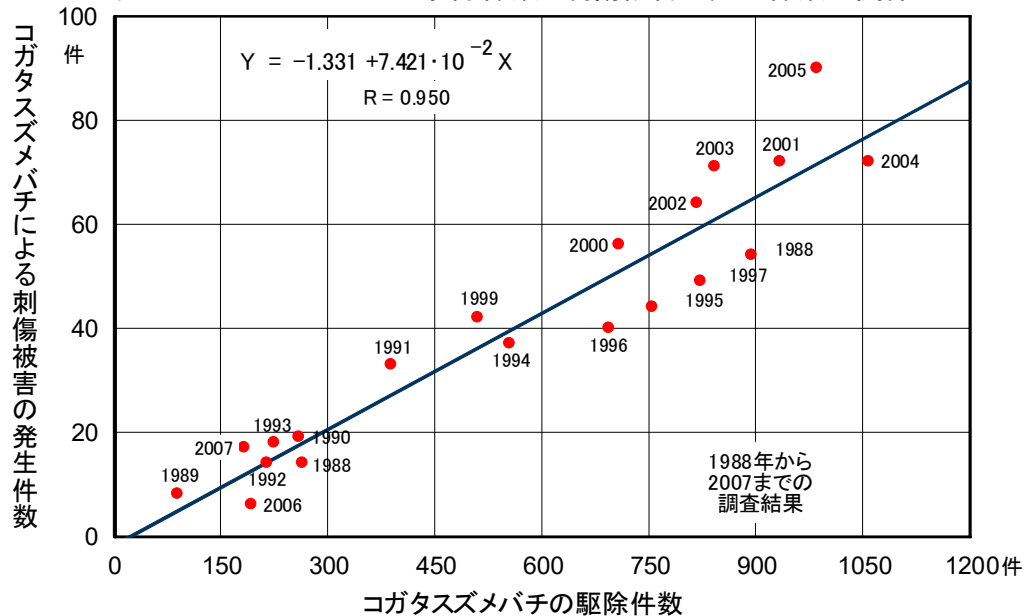


図7.6 コガタスズメバチの駆除件数と刺傷被害の発生件数の関係



## 8 ま と め

### 1 名古屋市の概況とスズメバチ駆除対策の変遷

#### (1) 名古屋市の概況

名古屋市は濃尾平野の南に位置し、市域の南西部で伊勢湾に面している。面積 326.45K m<sup>2</sup>、世帯数 987,732 世帯、人口 2,239,464 人（2008 年 1 月 1 日現在）の都市で、行政上は 16 の区からなる。

市域の東北端にあたる標高 198.3m の東谷山（守山区）を最高点として、北東の丘陵地から南西の低地に向けて緩やかな勾配をもつ地形が続いている。地形は自然環境や土地の利用形態から、東部の丘陵地、中央部の台地、北・西・南部の低地の 3 つに区分される。

市の東部（守山・千種・名東・天白・緑の 5 区）は、標高 50 ～ 100m 程度のなだらかな丘陵が続いている。最近急速に宅地化が進んでいるが、まだあちこちに大規模な公園・緑地が散在しており、比較的自然度の高い地域である。

中央部（中・東・昭和・瑞穂の 4 区と南・熱田区の一部）は、北から南にかけてなだらかに傾斜する標高 10 ～ 15m 程度の平坦な洪積台地で、古くから市街地が発達し、商業地・住宅地となっている。

北部・西部・南部（北・西・中村・中川・港の 5 区と熱田・南区の一部）は、河川の堆積作用によってできた沖積低地で、特に庄内川の西側と北側には畑や水田が残っているが、市域の北・西部では市街地化が進み、人口が増加している。南部の名古屋港周辺は工業地帯となっている。

こうした地形や自然環境、土地の利用形態の違いがスズメバチの発生量にも大きな影響を与えており、地域により大きな差がみられる。

#### (2) 名古屋市のスズメバチ事情

名古屋市中で今までに生息が確認されているのは、本州の西南暖地に同所的に生息する大型のスズメバチ属 *Vespa* 6 種全てと、クロスズメバチ属 *Vespula* 2 種の合計 8 種で、シダクロスズメバチを除いた 7 種の駆除記録がある。

この中で、毎年駆除依頼があるのは、コガタスズメバチ、キイロスズメバチ、ヒメスズメバチ、モンズズメバチおよびオオスズメバチの 5 種で、チャイロスズメバチ、クロスズメバチの駆除依頼は極めて少ない。

”名古屋のスズメバチ”の特徴として、①コガタスズメバチが圧倒的な優占種となっている、

②キイロスズメバチの発生が極めて少ない、③モンズズメバチの発生が多い、④チャイロスズメバチが生息しているの 4 点が挙げられる。

特にチャイロスズメバチの生息が毎年確認されていることは特筆に値する。

#### (3) 名古屋市のスズメバチ対策

##### ① 2005 年(平成 17 年)までの対応

1990 年までは市民からの相談や駆除依頼は、市内 16 区にある保健所の生活環境課環境衛生担当で受け付け、生活衛生センター（平成 7 年 10 月に防疫センターから改称）が駆除を実施してきた。

1991 年以降は市内 16 保健所の他、生活衛生センターでも直接受け付けが可能となった。

##### ② 2006 年から 2007 年までの対応

一般住宅等の民有地に作られた巣については、駆除対策が原則廃止され、建物または土地の所有者の責任で対処することとなった。駆除が必要な場合は民間の駆除業者に依頼することになり、駆除に要した経費の 1/2（ただし、上限は 1 万円）を補助する制度が始まった。補助金制度の対象はスズメバチのみで、アシナガバチについては対象とならない。

学校、公園などの公共的な場所については、引き続き生活衛生センターが無料で駆除を実施した。2008 年以降はまた、駆除に要した経費の補助制度も 2008 年度をもって廃止され、2009 年以降は全額自己負担となる。

##### ③ 2008 年以降の対応

緊急避難的な場合を除いて、駆除は全て管理者の責任で対処することになり、生活衛生センターによる駆除は全面的に廃止となった。

また、補助金制度は、引き続き 2008 年まで継続されるが、2009 年以降は廃止となる。

#### (4) 駆除の方法

駆除作業は全て日中に実施した。駆除に際してはスズメバチ防護服を着用し、巣穴からスプレーを噴射するか、巣穴をクロロホルムを染み込ませた綿花で塞いだ処理した後、巣を除去する方法をとった。

巣が高所にある場合や破損している場合、天井裏等の巣の除去が困難な場所に営巣した場合は、市販のハチ駆除専用スプレーや燻煙剤などを使用して駆除を実施した。

駆除に際しては、当初は 3 人体制で技師 1 名

が同行していたが、駆除件数の増加に伴い同行が困難になったことや、駆除器具の充実や駆除技術の向上もあって、体制の見直しを行い、1999年以降は原則2名で駆除を実施してきた。

ただし、営巣場所や種によっては作業に困難が伴うため、適宜人員を増員して駆除作業にあたってきた。

高い場所など足場の確保が難しい場合は、作業者の安全を第一に考え、駆除依頼者に対する指導のみにとどめ、駆除を実施しないケースもあった。

## (5) 調査活動

駆除した巣は生活衛生センターへ持ち帰り調査した。調査内容は以下のとおりである。

駆除前：営巣場所、巣の高さ、巣穴の向き、刺傷被害の有無など

駆除後：巣の大きさ、巣盤数、育房数、成虫数など

その他にスズメバチネジレバネなどの寄生状況も調査した。

調査結果はパソコンに入力し保管しており、これらのデータは「都市のスズメバチ」の生態を解明する上での貴重な資料となっている。

## 2 種別・年別の発生状況

### (1) 種別の発生状況

1983年から2007年まで25年間の総駆除件数は12,898件であった。種別の内訳は、コガタスズメバチが11,906件、92.3%を占め、圧倒的な優占種となっている。以下ヒメスズメバチ347件、2.7%、モンズズメバチ286件、2.2%、キイロスズメバチ206件、1.6%、オオスズメバチ142件、1.0%の順となっている。

ただし、コガタスズメバチやキイロスズメバチなど、人家やその周辺の人目につきやすい場所に営巣する種については、より高い割合で駆除依頼が寄せられるのに対して、営巣場所が人目につきにくい種や、営巣規模が小さな種は、営巣が見逃される機会も少なくないと思われる。

トラップによる捕獲調査でも、オオスズメバチとヒメスズメバチの2種は市内各地で多数捕獲されており、駆除件数以上に市内に生息していることは確実である。

コガタスズメバチとキイロスズメバチの2種は営巣場所や採餌習性に柔軟性があり、都市環境に対する適応能力が高い。そのためこの2種のいずれかが都市における優占種となっているが、名古屋市ではキイロスズメバチはむしろ退潮傾向にある。キイロスズメバチは1994年に記録した22件をピークに最近では1桁の発

生に止まっていたが、2005年には15件と久しぶりに2桁台を回復した。

ヒメスズメバチの駆除件数はコガタスズメバチに次いで第2位を占めている。本種は性質が温和で攻撃性が弱いことや、営巣規模が小さく営巣場所も閉鎖空間で人目につきにくいいため、実際よりも駆除依頼が少ない可能性が高い。市内16区全てで記録されており、本市ではキイロスズメバチ以上に都市環境に適応した種とみなされる。

また、本州西南暖地の大都市には珍しくモンズズメバチの発生が多いことも名古屋市の特徴の一つで、毎年少なからず発生が見られる。総駆除件数はコガタスズメバチ、ヒメスズメバチに次いで第3位であるが、2005年には54件と過去最多を記録している。

オオスズメバチは樹液に飛来する個体が市内各地でしばしば目撃されるが、営巣場所が土中などの閉鎖空間で、人目に触れる機会が少ないためか駆除件数は意外と少ない。

しかしながら、ここ数年は2桁の発生を記録するなど着実に増加傾向にあり、2005年は25件と過去最多を記録した。この年は雑木林のアベマキやコナラの樹液で、例年にも増して多数の働きバチが目撃され、本種の多発を裏付けている。

本種は他のスズメバチやミツバチの巣を集団で襲い、幼虫や蛹を蛋白源として巣に持ち帰るという特異な習性がある。そのため、他のスズメバチの天敵として、コロニーの存続に大きな影響を与えており、毎年多数の巣が本種の襲撃により廃巣となっている。

また、チャイロスズメバチの生息が毎年のように確認されていることも特筆に値する。

クロスズメバチは、少数ではあるが越冬調査時に越冬中の女王バチが見つかっており、また、誘引トラップでも捕獲されることから、市内に確実に生息していると思われるが、営巣場所が土中であることや、成虫が小型で目立たないことから駆除依頼が少ないものと考えられる。

### (2) 年別の発生状況

1983年の駆除開始以降、スズメバチの発生件数は不規則な増減を繰り返しながらも増加傾向にある。特に1994年を境に大幅に増加し、その後は現在まで多発傾向が続いている。この25年間で最も発生が多かったのは2005年の

1,116件であった。

1994年以降についてみると、コガタスズメ

バチの発生件数は3年周期で増減を繰り返しており、1995年、1998年、2001年、2004年が多発年であった。多発した翌年にはいったん減少し、その後2年続けて増加するというパターンをとるが、その変動要因は複雑で増減のメカニズムについてはまだよく分かっていない。

最多年（2004年：1,059件）と最小年（1999年：511件）の変動幅は2.1倍と比較的小さいのが特徴であるが、これは駆除がコロニー密度を調節する役割を果たし、結果として発生量の増加と年次変動の安定化につながっている可能性が高い。

また、コガタスズメバチ以外の4種については、これとは異なる不規則な増減をくりかえしており、明瞭な規則性はみられない。

### 3 区別の発生状況

スズメバチの発生状況は地域により大きな差が認められる。

25年間の延駆除件数が最も多かったのは緑区の1,994件で、以下守山区、名東区、千種区、天白区の順となっており、この5区が1,000件を超えている。

逆に最も少ないのは港区の172件で、最も多い緑区の8.7%に過ぎない。

それでは、今後名古屋市でどの程度までスズメバチの発生量が増加するであろうか？

それぞれの区で最多となった年の駆除件数を、面積1K㎡あたりに換算してみると、興味深い結果が得られる。

市域を東西でみると、名東区、千種区をピークとして東に多く西に少ない傾向が見られる。東部の丘陵地とそれに連なる洪積台地上の区で件数が多く、西が部の低地（沖積平野）に立地する区では少ない。

南北で見ると、名東区（8.0件：1998）をピークとして、南北いずれの方向に移動しても少なくなる。同じ東部丘陵地であっても件数に差がみられる原因として、開発による宅地化の差が挙げられる。比較的早く開発が進んだ千種区や名東区では住宅建設が進んでいることから、駆除件数が多くなったと考えられる。今後宅地化が進展する守山区（5.2件：2004年）や緑区（4.5件：2005年）では、少なくとも天白区（7.0件：2004年）や千種区（7.2件：2005年）並の増加が予想され、最終的には全市で1,500件を上回る可能性がある。

また、西部では南に下がるほど少なくなり、港区（0.5件：1997年）が最低であった。これは西南部の低地では、スズメバチの越冬に適し

た環境が少ないためだと考えられる。

コガタスズメバチは市内全域で発生しているが、発生量は非常に地域差が大きく、東部丘陵地とこれに隣接する千種、昭和、瑞穂、守山、緑、名東、天白の7区の占める割合が圧倒的に高く、逆に市の中心部や西部の低地の東、北、西、中村、中、熱田、中川、港、南の9区では少ない傾向にあった。

コガタスズメバチが総駆除件数に占める割合は、東部の5区では平均90.4%であるのに対して、他の11区では96.9%と高くなっている。最も低かったのは守山区の86.3%であった。

これは、コガタスズメバチ以外の種が東部5区を中心に発生していることを示しており、それぞれの区の良い環境指標ともなっている。

区別の発生種数をスズメバチ属6種についてみると、6種とも記録があるのは千種、名東の2区、5種の記録があるのは中村、中、昭和、守山、緑、天白の6区、4種の記録があるのが東、北、西、瑞穂の4区、3種の記録があるのは中川、港、南の3区、2種の記録があるのは熱田の1区となっている。

キイロスズメバチは16区中11区で駆除記録がある。以前は市内中心部でも少数ながら発生がみられたが、現在は東部の各区を中心に発生している。過去25年間の延駆除件数206件のうち、守山区が120件と全体の58.3%を占め、以下千種区28件、名東区24件、天白区15件の順となっている。

本種は同一区内でもさらに特定の地域に集中して発生する傾向が強く、東谷山周辺（守山区）、小幡緑地周辺（守山区）、平和公園周辺（千種区・名東区）、東山公園周辺（千種区・名東区・天白区）などで多発している。

モンスズメバチは12区で発生している。過去25年間の延駆除件数286件のうち、千種区が71件、24.8%と最も多く、以下守山区62件、天白区56件、名東区52件、緑区で24件の順となっており、東部の5区で全体の92.7%を占める。その他には昭和区で10件発生しているのを除けば他の区ではいずれも散発的である。

本種は幼虫の餌をセミに依存する比率が高く、周辺の環境を反映しやすい種である。また営巣規模も大きいため市街化の影響を最も受け易い。そのため発生も東部丘陵地に連なる各区で多発しており、キイロスズメバチ以上に特定の地域に集中して発生する傾向が強い。小幡緑地周辺（守山区）や、東山公園周辺（千種区、名東区、昭和区および天白区）で多発している。

ヒメスズメバチはコガタスズメバチ同様市内16区全てで駆除記録があるが、やはり東部の各区を中心に多発している。過去25年間の延駆除件数347件のうち、緑区が92、26.5%件と最も多く、以下名東区69件、守山区62件、天白区48件の順となっており、東部の5区で全体の84.1%を占める。

オオスズメバチは全体の78.2%が東部の5区で発生している。これは、本種の営巣場所が主に樹洞や土中であること、幼虫の餌に大型の鱗翅類の幼虫やカナブンなどを狩ることから、市街地では営巣場所や餌資源の確保が難しいためと考えられる。

また、越冬場所が主に土中であることから、コガタスズメバチ以上に、市街地には越冬に適した環境が少ないためと考えられる。

#### 4 月別の発生状況

駆除依頼はコロニーの規模が急速に発達する8月～10月の3ヶ月間に集中するが、5種の間にはピークの時期に違いがみられる。

コガタスズメバチは比較的営巣期間が長いことや、樹枝や軒下等の開放空間に営巣し、巣が人目につきやすいためか、少数ではあるが越冬女王による単独営巣期から駆除依頼がある。

駆除期間は5種の中で最も長く5月～11月の7月間に亘っているが、8月または9月をピークとした8月～10月の3ヶ月間に集中し、この間に全体の69.2%を駆除した。

例年、駆除依頼が最も集中するのは8月下旬から9月上旬である。過去25年間で1ヶ月当りの駆除件数が最も多かったのは2003年8月の257件で、次いで2004年8月の243件となっている。

また、1週間当りの駆除件数が最も多かったのは2003年8月18日～22日と2003年8月25日～29日の78件で、1日当りの駆除件数が最も多かったのは2004年9月21日の31件であった。

キイロスズメバチは5種の中で最も営巣期間が長い、駆除期間は7月～12月の約6ヶ月間である。ピークは8月で、9月を併せた2ヶ月間で全体の71.2%を駆除した。

ヒメスズメバチは5種の中で営巣期間が最も短く、駆除期間も6月～10月の5ヶ月間であるが、半数以上が8月に集中し、9月を併せた2ヶ月間で全体の89.2%を駆除した。

モンスズメバチの駆除期間は7月～11月の5ヶ月間であるが、8月と9月の2ヶ月間で全体の85.5%を駆除した。

キイロスズメバチとモンスズメバチは8月が引越しの時期に当たり、移動後の巣を発見する機会が増えることが原因として考えられる。

オオスズメバチの駆除期間は7月～10月の4ヶ月間であるが、10月がピークで9月を併せた2ヶ月間で全体の76.2%を駆除した。

本種はピークが10月と5種の中で最も遅いが、これは営巣場所が樹洞や地中であることから、秋になり山野に出かける機会が増えると共に、巣の発見も多くなることが原因として考えられる。

#### 5 スズメバチ類の営巣場所

スズメバチの営巣場所は種により異なっており、①地上の開けた場所に営巣する種、②地上または地下の閉ざされた場所に営巣する種、③そのどちらにも営巣する種の3つに大別される。

コガタスズメバチは全て開放的な場所に営巣し、オオスズメバチ、ヒメスズメバチは全て閉鎖的な場所に営巣する。

モンスズメバチも主に閉鎖的な場所に営巣するが、時には軒下などの開放的な場所にも営巣する。キイロスズメバチはそのどちらにも営巣する。

##### (1) コガタスズメバチの営巣場所

9,491件、79.7%が樹木に営巣し、2,415件、20.3%が家屋に営巣していた。樹木の種類は非常に多岐に亘り、100種以上に及んでいるが、特定の樹木に高い割合で営巣する傾向がみられた。サザンカが14.1%と最も多く、以下ツバキ8.1%、ツツジ7.8%、キンモクセイ7.7%の順であった。

これらの樹木は樹高が中程度で枝を密に出す常緑の広葉樹である点で共通しており、巣を保持したり風雨を避けるのに適している他、外部から巣を隠すのにも都合が良いと思われる。

また、生け垣や庭木に利用される機会が多いことも、営巣事例が多い理由として考えられる。

家屋では軒下が大半を占め、その他、外壁面や開放的な小屋などの天井に営巣する。巣の多くは上部および背面で建物に付着しており、クギや電線などの突起物を利用して作られることが多かった。

営巣場所の高さは、樹木営巣で平均1.9m、家屋営巣で平均が2.8mであった。

樹木営巣では1m以上2m未満が4,235件と最も多く、次いで2m以上3m未満が2,498件であった。家屋営巣では、2m以上3m未満が1,283件と最も多くなっている。これは軒下など営巣に適した場所が高めであることに起因し



ている。

## (2) キイロスズメバチの営巣場所

営巣場所は軒下や木の枝などの開放的な場所から、天井裏、床下、樹洞などの閉鎖的な場所までさまざまである。全体の 53.8 %が開放空間に、46.2 %が閉鎖空間に営巣したが、いずれの場合も家屋に営巣することがほとんどで、樹木営巣（樹洞・樹枝など）は少数であった。開放空間に営巣する場合は、コガタスズメバチに較べて高い場所に営巣した。

3m 以上の高さに営巣する場合は最も多く、平均の高さは 3.8m と 5 種の中では最も高い。

## (3) ヒメスズメバチの営巣場所

全てが閉鎖空間に営巣した。床下や戸袋、天井裏など家屋営巣が大半であるが、時には樹洞や水道メーターの中などにも営巣し、また、庭など屋外に放置された家具の中などにも営巣することがあった。

巣は釣り鐘状または電灯の傘のような薄い外皮があるのみで、下端は開放していて巣盤が見えているので、電話などで種を特定する場合アシナガバチと間違える可能性があり、聞き取りには注意が必要である。

1m 未満に営巣する場合は最も多く、営巣場所の高さの平均は 1.3 m であった。

## (4) モンスズメバチの営巣場所

モンスズメバチは天井裏や樹洞、壁間、戸袋、鳥の巣箱などの閉鎖的な場所に営巣するが、稀に軒下などに開放空間にも営巣する。

巣は釣り鐘状で底が抜けており、天井裏に営巣した場合、巣の下に餌の残骸や死骸などを捨てるため、天井にシミができて発見されることがある。

家屋営巣が 70.3 %と最も多く、次いで樹洞の順であった。

3m 以上の高さに営巣する場合は最も多く、高さの平均は 3.4m とキイロスズメバチに次いで高かった。

## (5) オオスズメバチの営巣場所

全て地中や樹洞などの閉鎖的な場所に営巣するが、地中が 76.8 %を占めて最も多かった。

ネズミ穴や樹木が倒れてできた穴などを利用して巣を作るが、巣穴を拡張するため、巣の入口付近に中から運び出した土の固まりが放射状に散乱していることがよくある。

稀には人家の天井裏や床下にも営巣することがある。営巣場所の平均の高さも 0.1m と 5 種の中で最も低い。

このように、営巣場所やその高さは種により異なっているが、これは同所的に生息するスズ

メバチ間で、営巣場所を巡る競争を避けるようなシステムが働いているとためと考えられている。

## 6 スズメバチ類のコロニーの発達

### (1) スズメバチの生活史

スズメバチは、巣を単位とした集団生活をしており、いずれの種も生活史は 1 年限りである。

春先に 1 頭の越冬女王バチにより巣が創設され、最盛期には多数の働きバチがみられる。秋にオスバチと新女王バチが羽化すると営巣活動は終わりをむかえ、新女王バチのみが越冬場所に移動して越冬する。

### (2) スズメバチのコロニーの発達

スズメバチの営巣規模や活動期間は種により異なっている。

最も営巣規模が大きいのはキイロスズメバチで、以下モンスズメバチ、オオスズメバチ、コガタスズメバチ、ヒメスズメバチの順となっている。

キイロスズメバチは、大きな巣では育房数が 10,000 房を越えるが、本市における最大巣の記録は 6,428 房と中程度の大きさである。

以下モンスズメバチが 4,708 房、オオスズメバチが 4,177 房の順となっている。

最も営巣規模が小さいヒメスズメバチの育房数は、通常 200 ～ 300 房であるが、本市では逆に 442 房の記録がある。

コガタスズメバチの営巣規模は山村部のデータと比較して同等かむしろ上回る傾向にある。名古屋市で今までに観察された最大の巣は、育房数 1,955 房であった。

このように大きな巣がある反面、巣が一番大きくなる 10 月になっても、1 層から 5 層までの巣が同時に存在するなど、大きさにはバラツキが見られる。そのためコロニーが最大となる 11 月の平均育房数は 533.3 房に過ぎない。この原因としては、共同営巣期の女王バチの死亡や、スズメバチネジレバネの寄生などが原因として考えられる。

### (3) コガタスズメバチの一年

コガタスズメバチの生活史は、①前営巣期(女王バチの越冬終了から営巣を開始するまで)、②女王バチによる単独営巣期、③女王バチと働きバチの共同営巣期、④女王バチと働きバチの分業期、⑤オスバチおよび新女王バチを産出する時期、⑥新女王バチの越冬期の 6 段階に分けることができる。

#### ① 前営巣期 (4 月～ 5 月)

誘引トラップによる調査で 4 月下旬に越冬女

王が捕獲されていることから、早い個体では4月中旬頃には活動を始めるようである。

## ② 女王バチによる単独営巣期（5月～6月）

駆除開始日の平均が5月8日であることから、営巣開始時期は5月上旬～中旬である。

働きバチは平均で6月9日に確認されており、最初の働きバチが羽化するまでの約1ヶ月半は、女王バチが単独で巣作りや子育てをする。巣はトックリを逆さまにしたような独特な形をしており、巣盤には30個前後の育房が作られる。この時期はスズメバチの生活史の中で最も厳しい時期で、女王バチの死亡によりかなり高い割合で廃巣になる。

## ③ 女王バチと働きバチの共同営巣期（6月～7月）

働きバチの羽化が本格化するのは6月中旬以降で、誘引トラップには6月上旬頃より多数の働きバチが捕獲されるようになる。

働きバチ数の平均も、6月の3.7頭に対して7月には16.4頭と増加する。

働きバチの羽化後、しばらくの間は女王バチも外役に出かけるが、働きバチの増加とともに産卵に専念するようになる。

## ④ 女王バチと働きバチの分業期（8月～9月）

この頃から巣は急速に大きくなり、7月には巣盤数が2層、8月には3層、9月には4層の巣が多く見られるようになる。

平均育房数は8月が218.9房、9月が332.1房である。働きバチ数も8月には平均43.9頭であるが、9月には平均60.7頭とピークとなる。

正常に発達した巣でオスバチが出現するのは8月中旬頃で、平均では8月7日となっている。

## ⑤ オスバチ及び新女王バチの産出期（9月～11月）

9月を過ぎると大半の巣は巣盤数が3層から4層になる。9月の終わり頃には巣の中は働きバチが減少しオスバチが多くなる。

10月の平均成虫数は76.7頭と最大となるが、働きバチが平均37.1頭であるのに対して、オスバチが平均33.3頭と半数近くを占めるようになる。

10月になると女王バチが死亡してなくなった巣も増えてくる。新女王バチは、オスバチより少し遅れて9月上旬頃より11月にかけて出現する。

## ⑥ 新女王バチの越冬期（11月～）

新女王バチは既に羽化しているオスバチと交尾した後、順次越冬場所に移動して翌年の春まで長い越冬生活に入る。巣の中は少数の働きバチだけとなり、もう子育てが行われることはな

い。こうしてコガタスズメバチの一年が終わる。

## 7 刺傷被害の発生状況

### (1) 種による攻撃性の違い

1988年から2007年までの20年間に920件の刺傷被害が発生し、1,002人が被害に遭っている。

スズメバチの攻撃性は種により大きく異なっている。攻撃性の強さは営巣規模とよく一致しており、規模が大きな種ほど危険である。攻撃性は強い方から、オオスズメバチ >= キイロスズメバチ >= モンスズメバチ >= コガタスズメバチ >= ヒメスズメバチの順になっている。

名古屋市における刺傷被害の発生率(駆除件数に対する被害の発生件数の割合)は、オオスズメバチ23.7%、キイロスズメバチ23.6%とこの両者が高い割合であるのに対して、コガタスズメバチ7.2%、モンスズメバチ5.4%、ヒメスズメバチ1.8%とさらに低い値となっている。

いずれの種も巣に物理的な刺激を加えなければ、かなり近くを繰り返し通行してもハチは人間に関心を示さないばかりか、逆に反応を示さなくなることが知られており、営巣場所の状況次第ではハチとの共存が可能である。

### (2) 刺傷被害の発生時期とその原因

刺傷被害の大半は9月をピークとした8月～10月の3ヶ月間に発生しており、この間で全体の78.6%を占める。

被害の発生数はコロニーの発達状況とよく一致しており、いずれの種も巣が大きくなり活動が活発となる時期ほど危険である。

コガタスズメバチでは、20年間に820件、871人が被害に遭っている。発生時期は6月～11月と長期にわたっているが、9月が234件と最も多く次いで8月209件、10月191件の順となっており、この3ヶ月間に634件、77.3%が発生した。

7月にも117件、14.3%の被害が発生しており、また営巣規模の小さな6月にも被害が発生することがあるので、働きバチが羽化後は注意が必要である。

樹木に作られた巣が原因となって発生する割合が781件、95.2%と圧倒的に高い。庭木の手入れなどで誤って巣に触れたり、枝を揺らして巣を刺激し刺されたケースが581件、70.9%と多い。また駆除作業中に刺されるケースや、いたずらで刺されるケースも少なからずあった。

被害が発生した巣の平均の高さは1.6mと大人が手を伸ばすと届く高さであった。

キイロスズメバチの被害は8月が最も多く次いで9月となっており、この2ヶ月で全体の74.4%を占める。これは本種が初期の営巣場所が手狭になると軒下などの開放空間に引越をする習性があり、それに伴って被害が増加すると考えられる。

被害が発生した巣の平均の高さは3.0mと手を伸ばしても届かない高さで、そのため巣に触れたケースは駆除作業中などの11件のみであった。27件はたまたま近くを通行したか、近くにいただけで被害にあっており、本種の攻撃性の強さがうかがわれる。

オオスズメバチは地中や樹洞に営巣することが多く、近くを通行した際に振動が巣に伝わり攻撃されることがある。そのため集団被害が発生しやすいので注意が必要である。

被害は他の種とは異なり10月が14件と最も

多く、次いで9月の13件となっており、この2ヶ月で全体の81.8%を占める。

これは本種の営巣場所が土中や樹洞であるため、秋になり山野に出かける機会が多くなると、遭遇する機会が増え被害も増加すると考えられる。

キイロスズメバチと同じように引越の習性があるモンズズメバチも、8月に最も被害が多くなっているが、キイロスズメバチほど攻撃性が強くないため、発生件数も15件と少ない。

秋の行楽シーズンになると野外活動に出かける機会が多くなり、スズメバチによる集団刺傷被害がしばしば発生している。発生場所は大半が山の中であるが、都市近郊でも同じような被害が発生する可能性があるため油断は禁物である。事前に十分な下見などを行い、被害の防止に努める必要がある。

## 8 名古屋のスズメバチに関する研究発表

(他との共同発表分を含む)

### (1) 学会等での発表

1985

第31回名古屋市公衆衛生研究発表会

名古屋市におけるスズメバチ類の営巣状況について(恒川)

1986

第2回ペストロジ研究会発表会：名古屋市

名古屋市におけるスズメバチ類(*Vespa*)の営巣状況について(恒川)

1990

第36回名古屋市公衆衛生研究発表会

名古屋市におけるスズメバチ属の営巣状況について(山内)

第34回日本応用動物昆虫学会大会：京都市

都市におけるスズメバチ類の発生動向と生息条件

松浦<sup>○</sup>(三重大・生物資源),山内,中村(横浜市),斉藤(豊中市下水道部)

1991

日本昆虫学会第51回大会・第35回日本応用動物昆虫学会大会：静岡市

都市におけるスズメバチ類の発生生態Ⅱ.名古屋市及び横浜市における

スズメバチの発生動向(山内<sup>○</sup>,中村(横浜市),松浦(三重大・生物資源))

都市におけるスズメバチ類の発生生態Ⅲ.スズメバチ属2種の越冬状況

中村<sup>○</sup>(横浜市),山内,松浦(三重大・生物資源)

1992

第38回名古屋市公衆衛生研究発表会

スズメバチはなぜ刺すか.刺傷被害について考える(山内)

日本昆虫学会第52回大会・第36回日本応用動物昆虫学会大会：弘前市

都市におけるスズメバチ類の発生生態Ⅰ.全国各地の発生状況

松浦<sup>○</sup>(三重大学生物資源),坂(小樽市),猪俣(北海道帯広保健所),山内

都市におけるスズメバチ類の発生生態Ⅲ.都市部におけるスズメバチネジレバネの

寄生状況と被寄生個体の行動(山内<sup>○</sup>,松浦(三重大・生物資源))

1993

第 39 回名古屋市公衆衛生研究発表会

名古屋市におけるスズメバチの発生生態.越冬調査の結果から 山内  
日本公衆衛生学会第 52 回大会：北九州市

名古屋市におけるスズメバチの発生生態.越冬調査の結果から 山内

1995

第 47 回日本衛生動物学会大会：津市

名古屋市におけるスズメバチ類の発生動態と駆除対策 山内<sup>○</sup>,松浦(三重大・生物資源)

第 41 回名古屋市公衆衛生研究発表会

誘引トラップによるスズメバチ類捕獲調査結果 第 1 報 後藤<sup>○</sup>,山内  
スズメバチの多発と駆除対策 山内,山原<sup>○</sup>

1996

第 42 回名古屋市公衆衛生研究発表会

誘引トラップによるスズメバチ類捕獲調査結果 第 2 報 後藤<sup>○</sup>,山内 1997

第 43 回名古屋市公衆衛生研究発表会

誘引トラップによるスズメバチ類捕獲調査結果 第 3 報 後藤<sup>○</sup>,山内

名古屋のスズメバチ.コガタスズメバチを除く 2 属 6 種の発生生態 山内<sup>○</sup>,後藤

第 41 回全国環境衛生大会研究集会：郡山市

誘引トラップによるスズメバチ類捕獲調査結果 後藤<sup>○</sup>,山内

日本衛生動物学会北日本支部大会

都市周辺におけるスズメバチ類の越冬 高橋<sup>○</sup>,伊東(北海道衛研),山内

1998

第 21 回愛知県公衆衛生研究会

誘引トラップによるスズメバチ類捕獲調査結果 後藤<sup>○</sup>,山内

第 44 回名古屋市公衆衛生研究発表会

誘引トラップによるスズメバチ類捕獲調査結果 第 4 報 後藤<sup>○</sup>,山内

名古屋のスズメバチⅠ.平成 9 年度(1997)のスズメバチ類の発生状況 浅井<sup>○</sup>,山内

名古屋のスズメバチⅡ.スズメバチ類の多発傾向は今後続くのか? 山内

日本公衆衛生学会第 57 回大会：岐阜市

名古屋市におけるスズメバチの発生生態.スズメバチ類の多発傾向は今後続くのか? 山内

1999

第 45 回名古屋市公衆衛生研究発表会

スズメバチによる刺傷被害と抗体価 山内

第 15 回日本ペストロギー学会大会：名古屋市

名古屋市におけるスズメバチの多発と駆除対策 山内

2000

第 46 回名古屋市公衆衛生研究発表会

高層ビルの屋上付近で見られるヒメスズメバチの特異な配偶行動(第一報) 山内

2001

第 47 回名古屋市公衆衛生研究発表会

名古屋市におけるチャイロスズメバチの発見 山内

第 45 回日本応用動物昆虫学会大会：東京都

スズメバチの発生予察は可能か 牧野<sup>○</sup>(森林総研)・山内

2004

第 50 回名古屋市公衆衛生研究発表会

名古屋市におけるスズメバチ類の生態と発生動向 山内

誘引トラップによるスズメバチ類捕獲調査結果 第 5 報 中川<sup>○</sup>,山内

2005

日本昆虫学会第 65 回大会：岡山市

ネジレバネがスズメバチコロニーの生産性に与える影響の解析 牧野<sup>○</sup>(森林総研)・山内

2006

第 52 回名古屋市公衆衛生研究発表会

平成 17 年度の駆除結果からみたスズメバチ類の発生状況 山内

第 45 回全国環境衛生大会研究集会：横浜市

23 年間の駆除結果からみた名古屋のスズメバチ事情 山内

2007

第 53 回名古屋市公衆衛生研究発表会

名古屋のチャイロスズメバチ 山内

ペットボトルを利用したスズメバチ類捕獲結果－東山公園及び周囲の調査結果－ 河村<sup>○</sup>他

2009

第 55 回名古屋市公衆衛生研究発表会

スズメバチを通して見た名古屋の自然環境 山内

## (2) 名古屋市のスズメバチに関する印刷物

山内博美，名古屋市のスズメバチ駆除対策，生活と環境 39(3)：36-40，1994

山内博美，スズメバチの都市環境に対する適応，昆虫と自然 41(10)19-22，2006

山内博美，23 年間の駆除結果から見た名古屋のスズメバチ事情，生活と環境 52(2)：72-76，2007

山内博美，スズメバチによる刺傷被害，ペストコントロール 141：38-41，2008

山内博美，都市のスズメバチ，中日出版社（名古屋），pp112，2009